

令和 3 年度

橋梁長寿命化計画策定業務

橋梁個別施設計画書

令和 4 年 2 月

赤 井 川 村



ダイシン 設計株式会社

目 次

(赤井川村 橋梁個別施設計画書)

第 1 章 業務概要	1
1-1. 業務目的	1
1-2. 業務項目	1
1-3. 業務の流れ	4
1-4. 位 置 図	5
1-5. 村のプロフィール	7
第 2 章 策定橋梁の概要と状態	8
2-1. 策定橋梁の概要	8
2-2. 策定橋梁の状態	14
第 3 章 橋梁個別施設計画策定の概要	21
3-1. 計画策定の方針	21
3-2. 対策の優先順位の考え方	26
3-3. 橋梁個別施設計画策定対象橋梁の健全性診断結果	30
3-4. 今後の維持工事対応について	99
第 4 章 橋梁個別施設計画策定結果	100
4-1. 計画策定の結果	100
第 5 章 BMS の結果	108
5-1. BMS による補修費用試算結果	108
第 6 章 道路メンテナンス事業補助制度における優先支援の実施について	119
6-1. 今後の取組について	119

(～ 119 END)

第1章 概 要

1-1. 業務目的

当該業務は赤井川村が管理する村道橋のうち 64 橋について近接目視点検や診断結果より橋梁個別施設計画の見直しをする業務である。

1-2. 業務項目

橋梁長寿命化修繕計画の策定 ～ 全 64 橋

※詳細は、次頁「赤井川村 橋梁個別施設計画策定リスト」を参照。

赤井川村 橋梁長寿命化修繕計画策定リスト

No.	橋梁管理番号 (11桁)	橋梁番号 (4桁)	橋 梁 名	路線番号 (4桁)	路 線 名	道路種別	交差物名称 (河川名等)	橋梁 主構造形式	橋 長 [m]	径間数	架設年次	供用 年数
1	01409100010	0001	北生橋	0001	板小屋線	市町村道 その他	板小屋川	橋	7.10	1	平成11年 (1999年)	23
2	01409100020	0002	山道橋	0003	日の出線	市町村道 その他	板小屋川	橋	9.50	1	昭和52年 (1977年)	45
3	01409100030	0003	水車橋	0003	日の出線	市町村道 その他	赤井川	橋	28.30	1	昭和41年 (1966年)	56
4	01409100040	0004	北部橋	0003	日の出線	市町村道 その他	赤井川	橋	21.20	1	平成5年 (1993年)	29
5	01409100050	0005	日の出橋	0003	日の出線	市町村道 その他	板小屋川	橋	14.90	1	平成8年 (1996年)	26
6	01409100060	0006	母沢橋	0004	母沢線	市町村道 1級	赤井川	橋	34.30	1	昭和45年 (1970年)	52
7	01409100070	0007	山梨橋	0005	山梨線	市町村道 その他	赤井川	橋	6.70	1	昭和48年 (1973年)	49
8	01409100080	0008	旭橋	0006	東三番線	市町村道 その他	赤井川	橋	38.60	2	昭和49年 (1974年)	48
9	01409100090	0009	共栄東橋	0007	共栄線	市町村道 その他	共栄の沢川	橋	7.10	1	昭和40年 (1965年)	57
10	01409100100	0010	富田橋	0008	富田線	市町村道 1級	赤井川	橋	49.50	2	平成3年 (1991年)	31
11	01409100110	0011	沼の沢橋	0009	東五番線	市町村道 その他	赤井川	橋	55.30	2	昭和47年 (1972年)	50
12	01409100120	0012	長寿橋	0010	東旭丘線	市町村道 その他	赤井川	橋	49.40	2	昭和48年 (1973年)	49
13	01409100130	0013	共進橋	0012	東横二番線	市町村道 1級	共栄の沢川	橋	13.50	1	平成10年 (1998年)	24
14	01409100140	0014	上山道橋	0016	山道線	市町村道 その他	赤井川	橋	13.60	1	昭和51年 (1976年)	46
15	01409100150	0015	上富田橋	0022	上富田線	市町村道 その他	富田川	橋	7.04	1	昭和55年 (1980年)	42
16	01409100160	0016	共和橋	0023	共栄東橋	市町村道 その他	赤井川	橋	34.55	2	昭和54年 (1979年)	43
17	01409100170	0017	下富田橋	0027	中富田線	市町村道 その他	富田川	橋	7.04	1	昭和55年 (1980年)	42
18	01409100180	0018	丸山橋	0032	中央線	市町村道 その他	丸山川	橋	5.00	1	昭和61年 (1986年)	36
19	01409100190	0019	寿橋	0004	母沢線	市町村道 1級	赤井川	橋	34.15	2	昭和59年 (1984年)	38
20	01409100200	0020	更生橋	0033	中央池田線	市町村道 2級	上中の川	橋	8.50	1	昭和53年 (1978年)	44
21	01409100210	0021	滝の川橋	0034	然別線	市町村道 1級	滝の川	橋	14.10	1	平成18年 (2006年)	16
22	01409100220	0022	共栄橋	0035	南池田線	市町村道 1級	滝の川	橋	11.82	1	昭和61年 (1986年)	36
23	01409100230	0023	共栄西橋	0035	南池田線	市町村道 1級	上中の川	橋	3.10	1	昭和63年 (1988年)	34
24	01409100240	0024	池田橋	0035	南池田線	市町村道 2級	池田川	橋	13.26	1	平成16年 (2004年)	18
25	01409100250	0025	金鋼橋	0035	南池田線	市町村道 2級	下池田川	橋	12.54	1	平成5年 (1993年)	29
26	01409100260	0026	忠生橋	0035	南池田線	市町村道 2級	下池田川	橋	6.84	1	平成4年 (1992年)	30
27	01409100270	0027	北丸山橋	0041	北丸山線	市町村道 その他	丸山川	橋	3.10	1	昭和53年 (1978年)	44
28	01409100280	0028	下滝の川橋	0042	西横一番線	市町村道 その他	滝の川	橋	12.14	1	平成3年 (1991年)	31
29	01409100290	0029	東池田橋	0042	西横一番線	市町村道 その他	池田川	橋	9.50	1	昭和58年 (1983年)	39
30	01409100300	0030	栄橋	0044	中池田線	市町村道 2級	上中の川	橋	4.20	1	昭和51年 (1976年)	46
31	01409100310	0031	秀生橋	0045	西横四番線	市町村道 その他	上中の川	橋	4.00	1	昭和42年 (1967年)	55
32	01409100320	0032	西池田橋	0046	西横五番線	市町村道 その他	池田川	橋	9.15	1	昭和48年 (1973年)	49
33	01409100330	0033	桐橋	0047	西横六番線	市町村道 2級	上池田川	橋	4.70	1	平成4年 (1992年)	30
34	01409100340	0034	時生橋	0047	西横六番線	市町村道 2級	池田川	橋	9.84	1	平成4年 (1992年)	30
35	01409100350	0035	町内西橋	0048	町内西線	市町村道 その他	滝の川	橋	17.70	1	平成5年 (1993年)	29
36	01409100360	0036	北滝の川橋	0056	北一番線	市町村道 その他	滝の川	橋	8.40	1	平成15年 (2003年)	19
37	01409100370	0037	共栄南橋	0057	共栄西線	市町村道 その他	滝の川	橋	18.76	1	昭和64年 (1989年)	33
38	01409100380	0038	下都橋	0062	下都線	市町村道 その他	無名川	橋	4.50	1	昭和48年 (1973年)	49
39	01409100390	0039	明治橋	0065	明治鉾山通線	市町村道 その他	白井川	橋	40.20	3	昭和37年 (1962年)	60
40	01409100400	0040	超盛橋	0066	轟線	市町村道 その他	白井川	橋	24.00	3	昭和43年 (1968年)	54
41	01409100410	0041	王盛橋	0066	轟線	市町村道 その他	白井川	橋	26.02	1	昭和39年 (1964年)	58
42	01409100420	0042	雷音橋	0066	轟線	市町村道 その他	白井川	橋	19.60	1	昭和38年 (1963年)	59
43	01409100430	0043	宝盛橋	0066	轟線	市町村道 その他	白井川	橋	25.20	3	昭和37年 (1962年)	60
44	01409100440	0044	金盛橋	0066	轟線	市町村道 その他	白井川	橋	40.00	5	昭和36年 (1961年)	61
45	01409100450	0045	放水橋	0067	明治線	市町村道 その他	無名川	橋	11.00	1	平成6年 (1994年)	28
46	01409100460	0046	集水橋	0067	明治線	市町村道 その他	無名川	橋	9.00	1	平成6年 (1994年)	28
47	01409100470	0047	岩根橋	0069	落合線	市町村道 その他	小樽川	橋	31.40	1	平成3年 (1991年)	31
48	01409100480	0048	北上橋	0069	落合線	市町村道 その他	北上ノ沢川	橋	12.36	1	平成3年 (1991年)	31
49	01409100490	0049	藤橋	0069	落合線	市町村道 その他	青獅子沢川	橋	6.40	1	昭和50年 (1975年)	47
50	01409100500	0050	桜橋	0069	落合線	市町村道 その他	青獅子川	橋	6.50	1	平成6年 (1994年)	28

赤井川村 橋梁長寿命化修繕計画策定リスト

No.	橋梁管理番号 (11桁)	橋梁番号 (4桁)	橋 梁 名	路線番号 (4桁)	路 線 名	道路種別	交差物名称 (河川名等)	橋梁 主構造形式	橋 長 [m]	径間数	架設年次	供用 年数
51	01409100510	0051	梅橋	0069	落合線	市町村道 その他	青獅子川	橋	6.50	1	平成6年 (1994年)	28
52	01409100520	0052	松橋	0069	落合線	市町村道 その他	青獅子川	橋	6.50	1	平成6年 (1994年)	28
53	01409100530	0053	青獅子橋	0070	小樽沢線	市町村道 その他	青獅子川	橋	30.40	1	平成12年 (2000年)	22
54	01409100540	0054	常盤橋	0073	赤井川高原道路	市町村道 その他	余市川	橋	61.00	2	昭和64年 (1989年)	33
55	01409100550	0055	喜多野橋	0073	赤井川高原道路	市町村道 その他	余市川	橋	21.07	1	平成3年 (1991年)	31
56	01409100560	0056	後志沢橋	0079	後志沢線	市町村道 1級	都川	橋	9.60	1	平成10年 (1998年)	24
57	01409100570	0057	中池田橋	0084	池田川沿線	市町村道 その他	池田川	橋	5.00	1	昭和60年 (1985年)	37
58	01409100580	0058	上滝の川橋	0043	西横二番線	市町村道 2級	滝の川	橋	11.46	1	平成16年 (2004年)	18
59	01409100590	0059	下池田橋	0046	西横五番線	市町村道 その他	下池田川	橋	5.00	1	昭和48年 (1973年)	49
60	01409100600	0060	奥池田橋	0047	西横六番線	市町村道 その他	下池田川	橋	3.50	1	平成10年 (1998年)	24
61	01409100610	0061	上桐橋	0047	西横六番線	市町村道 2級	池田川	橋	4.00	1	平成10年 (1998年)	24
62	01409100620	0062	西三番橋	0036	西三番線	市町村道 その他	池田川	橋	4.85	1	昭和48年 (1973年)	49
63	01409100630	0063	轟橋	0066	轟線	市町村道 その他	白井川	橋	4.40	1	昭和54年 (1979年)	43
64	01409100640	0064	都橋	0088	都南線	市町村道 その他	後志川	橋	2.90	1	平成27年 (2015年)	7

〔 備 考 欄 〕

- ・使用する長寿命化修繕計画策定プログラム：HOCTEC北海道市町村橋梁管理システム(BMSシステム)～(財)北海道建設技術センター
- ・使用する基礎データ：平成28、29、30年度橋梁点検データ(「メンテナンス会議版市町村橋梁点検データ入力システム」により作成)
- ・赤井川村所管橋梁数は64橋である。

1-3. 業務の流れ

橋梁個別施設計画策定の流れを以下に示す。



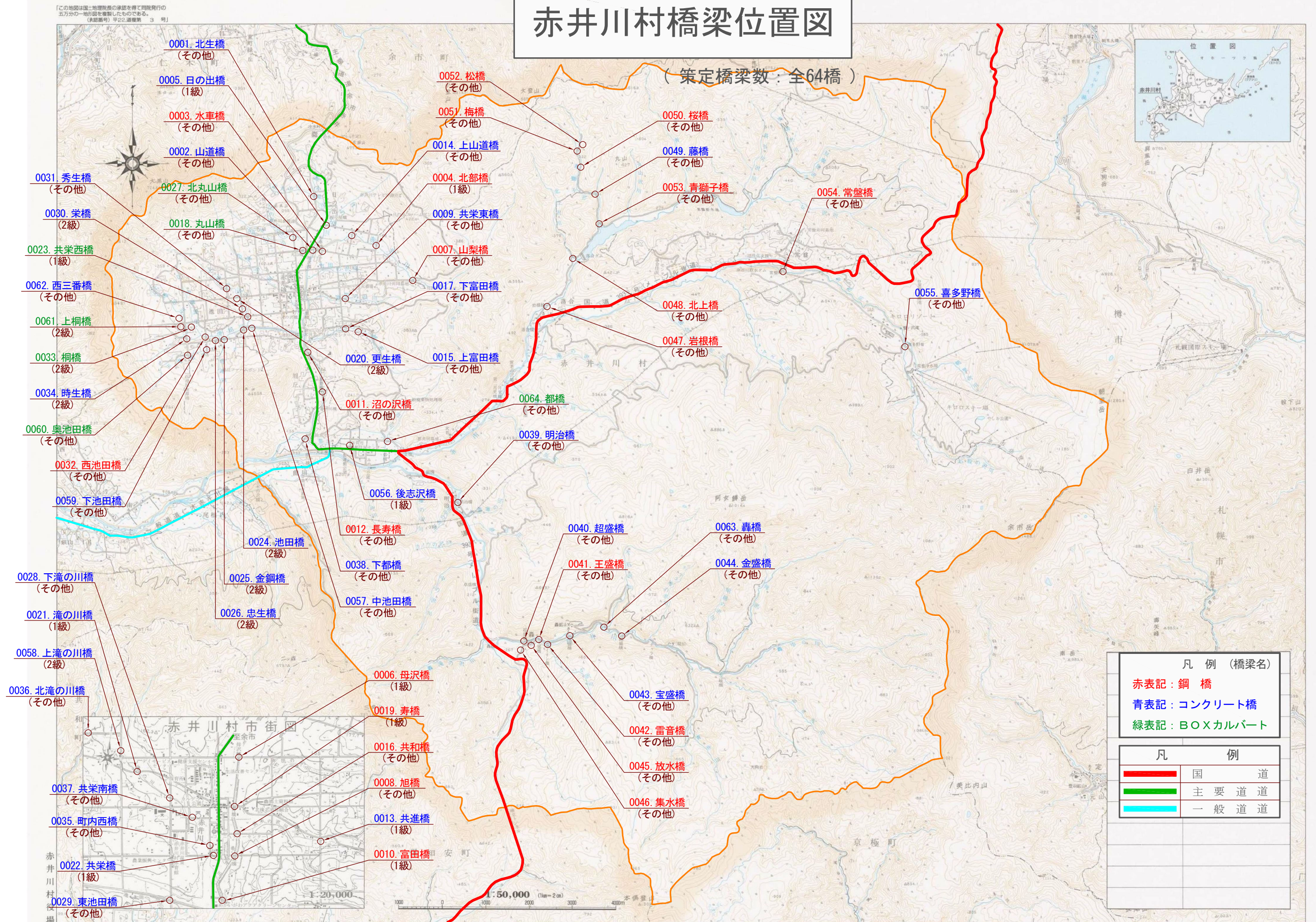
図 1-3-1 長寿命化修繕計画の流れ

（『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』P.2 より）

1-4. 位置図

赤井川村橋梁位置図

(策定橋梁数：全64橋)



1-5. 村のプロフィール

赤井川村

人 口 : 1,102 人 (2021 年 11 月末現在)

面 積 : 280.09 km²

主な道路 : 一般国道 393 号、
主要道道 36 号余市赤井川線（主要道道は全 1 路線）、
一般道道 1022 号仁木赤井川線（一般道道は全 1 路線）

主な河川 : 余市川、小樽川、白井川、赤井川

隣接自治体 : 札幌市、小樽市、余市町、仁木町、倶知安町、京極町

地理・地勢 : 赤井川村は、北海道の南西部に位置し、周囲を札幌市、小樽市、余市町、仁木町、倶知安町、京極町に囲まれた緑豊かな「カルデラの里」です。東西 26km、南北 17km、総面積 280.09 平方 km と広大ですが、その 8 割が山林で占められています。
地勢は、四方を山々に囲まれた「カルデラ」上の地形をなしています。

気 象 : 気象条件は盆地特有の内陸型気候で、冬の積雪は多く、北海道内で有数の豪雪地帯です。夏は気温が上がりますが、昼夜の寒暖の差が大きく、果菜類の栽培に適しています。

※上記は村のホームページ等から抜粋した情報である。

第2章 策定橋梁の概要と状態

2-1. 策定橋梁の概要

現在、赤井川村の策定橋梁数は、全 64 橋（橋長合計 1.04km）であり、以下に策定橋梁の概要として各種データをまとめた。

道路種別による橋梁数の内訳を図 2-1-1 に示す。

道路種別では、その他村道に架かる橋梁が 47 橋と全体（全 64 橋、以降文章内省略）の約 7 割を占めている。

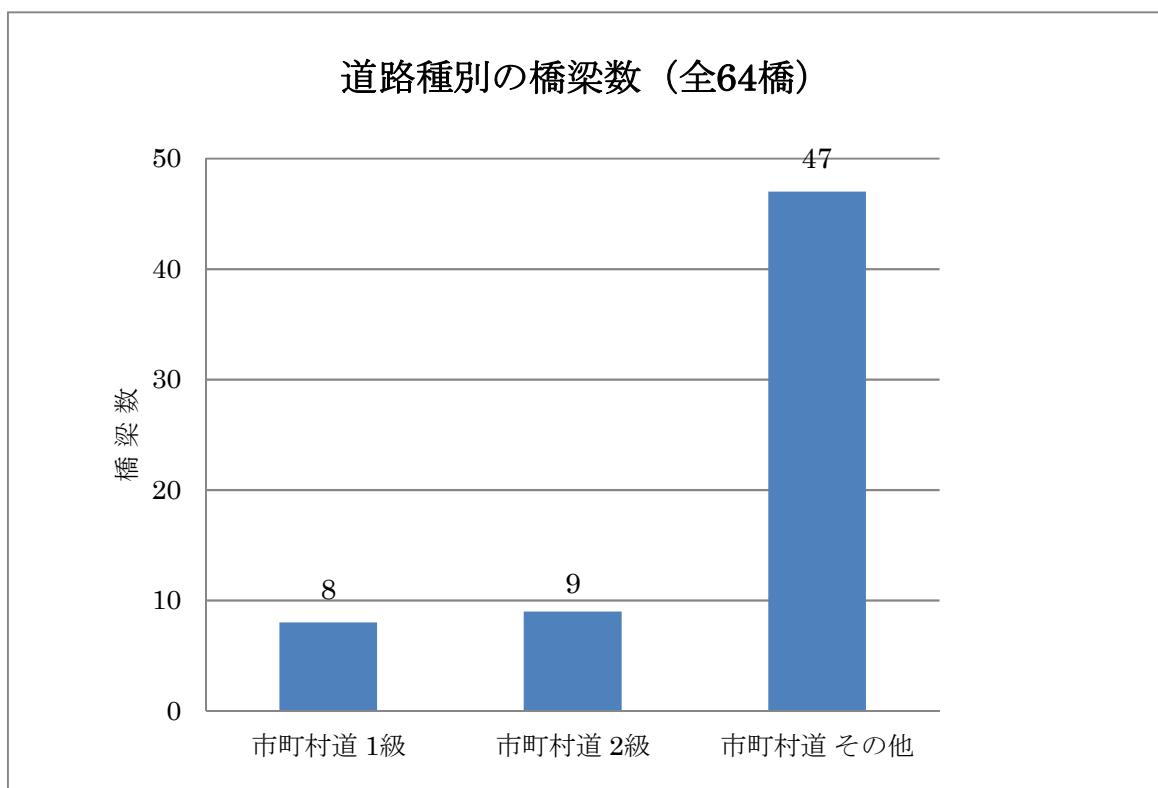


図 2-1-1 道路種別内訳橋梁数

次に、橋長区分別及び橋種別にみた橋梁数の内訳を図 2-1-2、図 2-1-3 に示す。

橋長区分別では、15m 未満の橋梁が 46 橋と全体の約 7 割を占めている。

赤井川村では、長大橋は保有していない。

橋種別では、コンクリート橋（RC 橋、PC 橋）が 35 橋と全体の約 5 割を占めている。

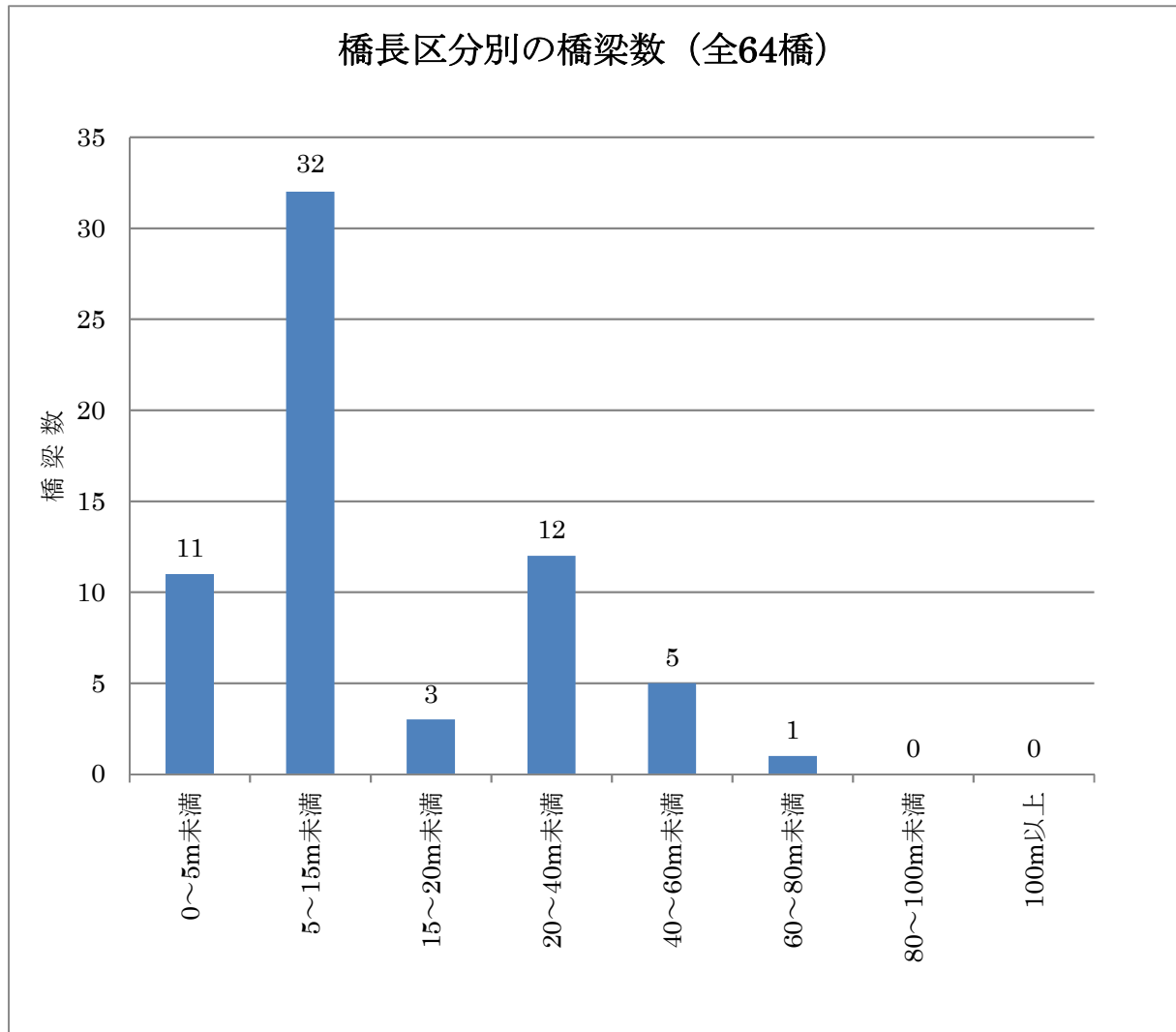


図 2-1-2 橋長区分別の橋梁数

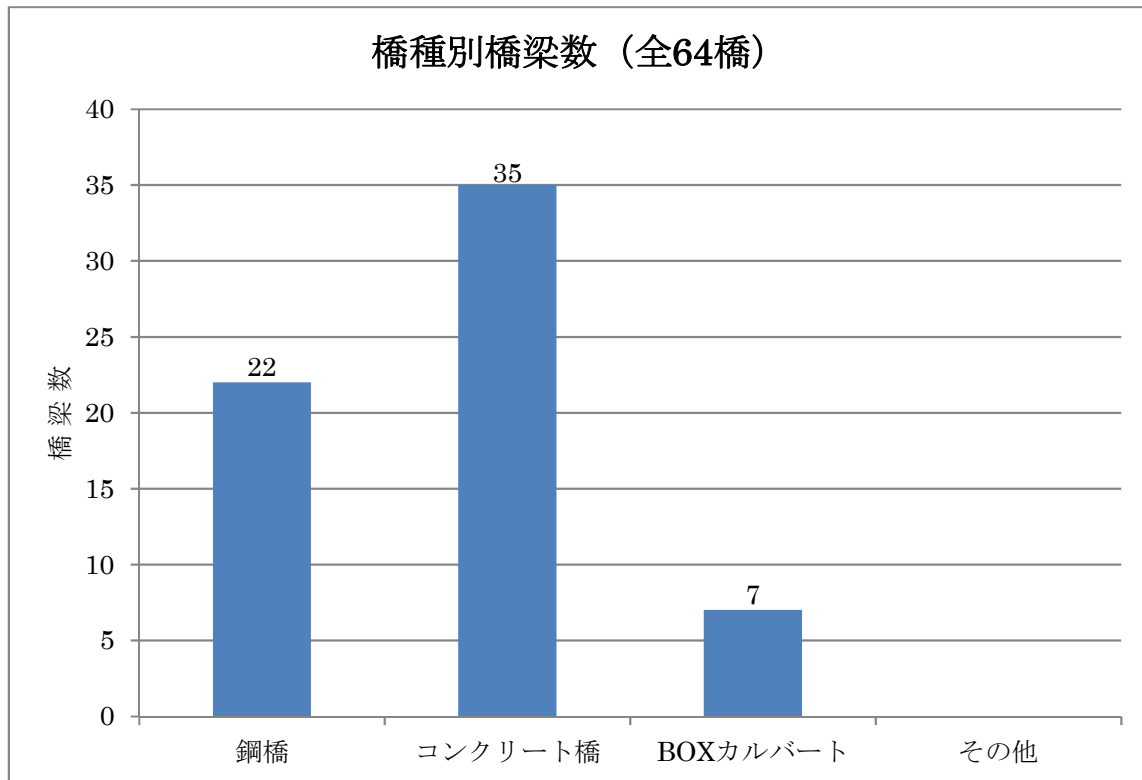


図 2-1-3 橋種別橋梁数

次に、架設年代別にみた橋梁数の内訳を図 2-1-4 に示す。

全国的な建設ラッシュにあたる高度経済成長期（1960、1970 年代）には、26 橋と全体の約 4 割が架設されており、その後の安定成長期（1980～2000 年代）には、38 橋と全体の約 6 割が架設されている。

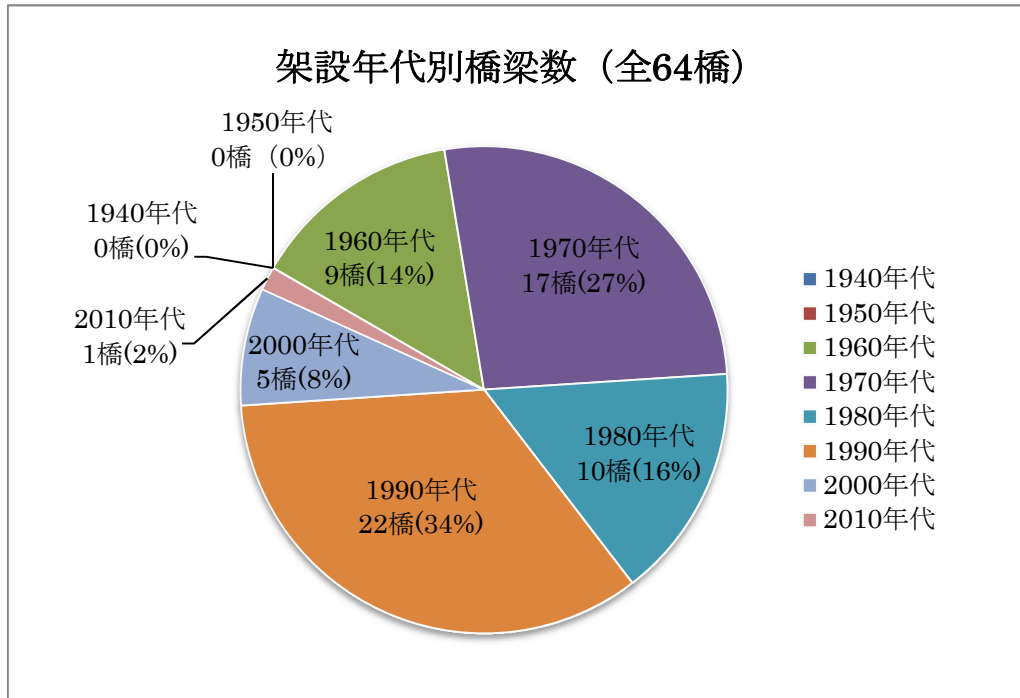


図 2-1-4 架設年代別橋梁数

次に、建設後 50 年以上経過した橋梁数の推移を図 2-1-5、図 2-1-6 に示す。

2020 年現在、高齢化（供用年数 50 年以上）した橋梁は全体の約 23%だが、20 年後には全体の約 7 割、40 年後にはほぼ全ての橋梁が供用年数 50 年を迎え、今後急速に高齢化が進行していく。

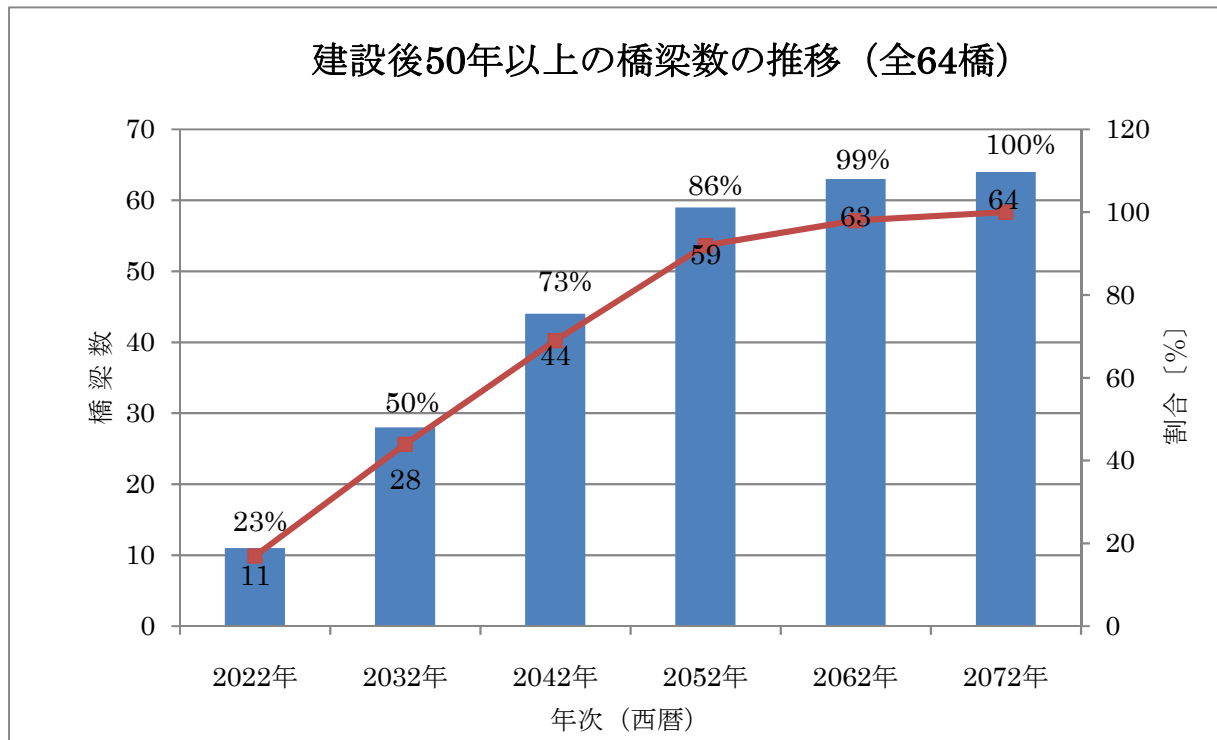


図 2-1-5 建設後 50 年以上の橋梁数の推移-1

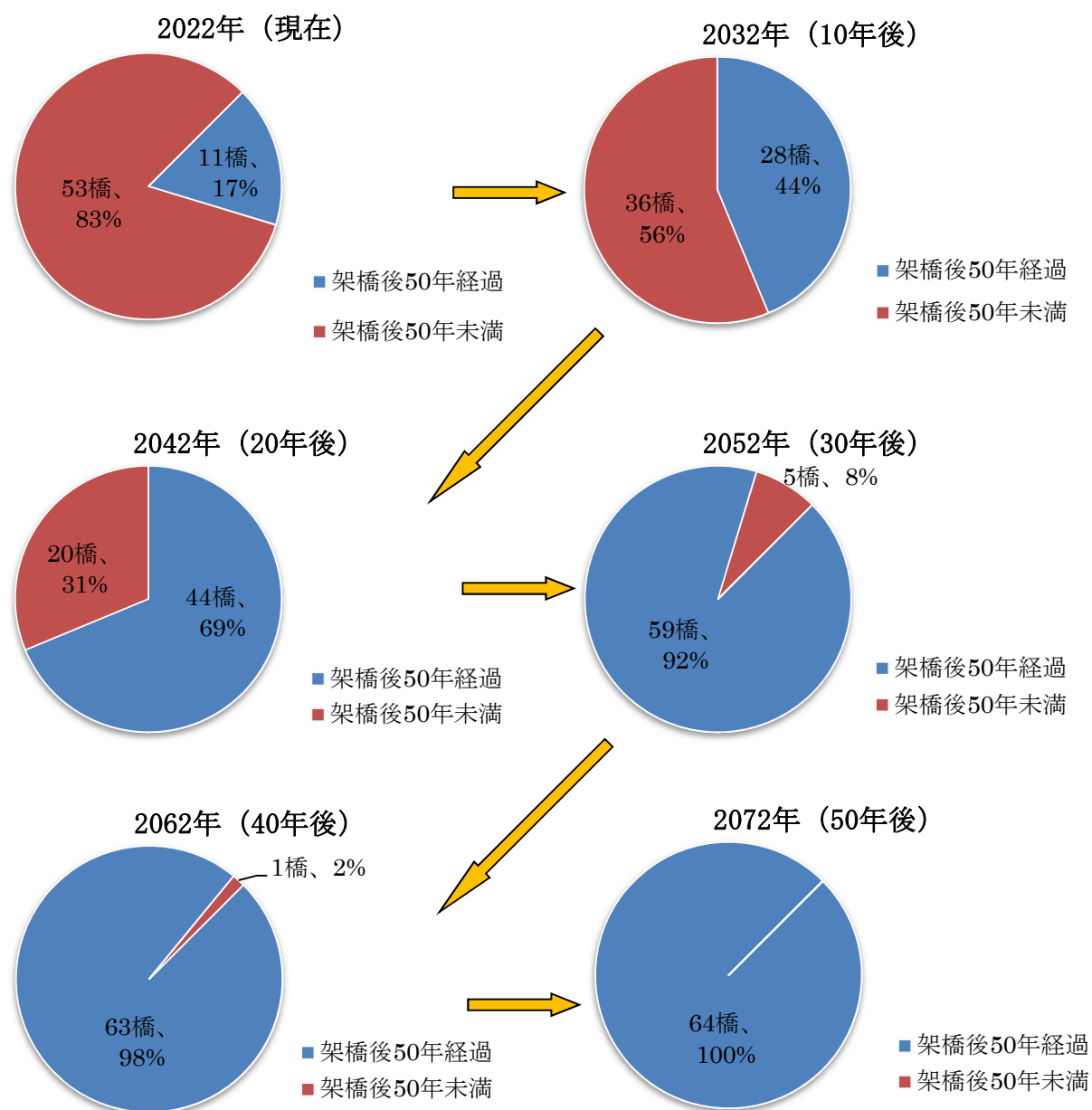


図 2-1-6 建設後 50 年以上の橋梁数の推移-2

2-2. 策定橋梁の状態

平成 28～30 年度に実施された橋梁点検結果における橋梁健全性診断の結果をまとめた。
健全性診断別橋梁数の内訳を図 2-2-1 に示す。

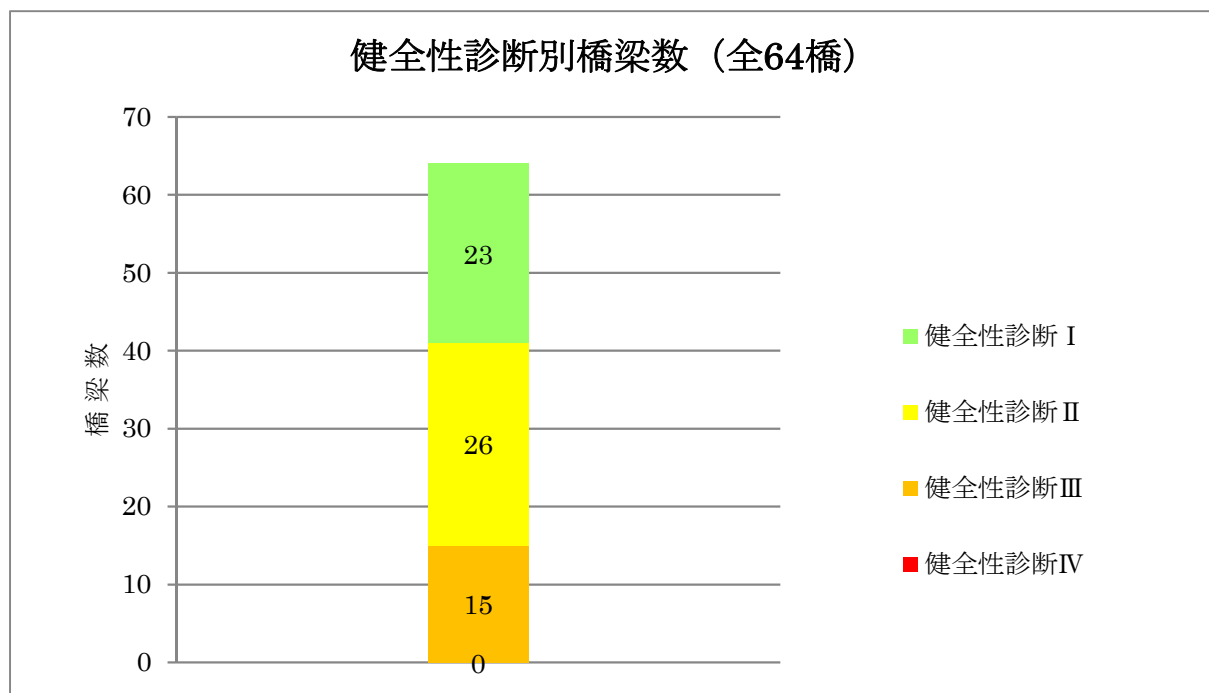


図 2-2-1 健全性診断別橋梁数

点検健全度の評価対象と評価方法の確認

1) 評価対象

中長期維持管理計画策定において、橋梁マネジメントシステムにより補修時期および補修工法・費用を算出する対象部材は、橋梁を構成する以下の重要部位とする。

一方、システムの対象外とする部位に係る維持管理費用については、別途計上する。

【システムが対象とする部材】

- ・主桁
- ・床版
- ・橋台、橋脚
- ・支承
- ・伸縮装置

【システムの対象外とする部材】

- ・上部工副部材
- ・基礎
- ・橋面工（舗装、地覆、縁石、防護柵）
- ・落橋防止装置
- ・その他（排水装置、点検施設、遮音施設、照明施設、添架物）

※ここで、システムの対象外とした理由は、次の通り。

- ・上部工の副部材については、劣化予測の対象外とし、補修計画は主桁に合わせることにする。
なお、副部材の補修費用は、主桁補修費用を割り増すことで考慮する（係数 $\alpha=1.2$ ）。
- ・基礎については、劣化予測が現状では困難であることから、点検結果から判断し、適切な対策を行うものとし、別途計上とした。
- ・舗装については、橋梁上のみでなく前後の土工区間も含めた補修計画が立てられることから、別途計上とした。
- ・舗装以外の部材については、予防保全的な効果が比較的小さいため、点検結果から判断し事後保全的に対応することが可能と考え、別途計上とした。

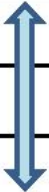
（『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』 P.8 より）

2) 評価方法

ここで、橋梁点検から修繕計画策定までの流れを下記要領および BMS システムにより実施した場合の健全度評価方法について、以下にまとめるものとする。

要領 : 『北海道市町村橋梁点検マニュアル（案）』 平成 31 年 3 月訂正版
～ 北海道道路メンテナンス会議
『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』
～ (財)北海道建設技術センター
BMS システム : 『HOCTEC 市町村橋梁管理システム』 ～ (財)北海道建設技術センター

〔評価方法〕 ～ 部材単位の健全度評価

点検健全度 R		5段階評価
5	良	a
4		b
3		c
2		d
1	悪	e

橋梁単位の健全度評価

橋梁単位の健全度（橋梁健全度：BHI）は定量的な指標として、次式に示すように、各部材の点検健全度 R と部材間の重み係数を用いて加重平均法により計算する。

また点検健全度 R は、表 3.5 に示すように 100%～0%の健全度係数 a に変換する。両者の関係については、今後の検討課題であるが、ここでは直線的な関係を用いることとした。

$$BHI = \sum_i D_i \cdot a(R_i)$$

ここに、

BHI ：部材の点検結果（損傷度）を考慮した橋梁健全度

i ：部材番号

D_i ：部材 i に対する重み係数 $D_1 + D_2 + \dots + D_n = 1.00$ （表 3.4 参照）

$a(R_i)$ ：部材 i の点検健全度 R_i に対する健全度係数（表 3.5 参照）

表 3.4 部材間の重み係数

部材	重み係数 D_i
主桁	0.31
床版	0.23
橋台、橋脚	0.46

表 3.5 点検健全度と健全度係数の関係

点検健全度 R	健全度係数 a (%)
5	100
4	75
3	50
2	25
1	0

良
↑
↓
悪

※点検手法（橋梁点検・維持管理要領、道路橋に関する基礎データ収集要領(案)）によらず共通

（『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』 P.11 より）

前述より、計画策定の運用システム「HOCTEC 北海道市町村橋梁管理システム（Web 版 BMS）」では、策定橋梁に対する部材単位、橋梁単位の点検健全度が評価され、それに基づいて補修補強工法と数量が策定されていくものである。

上記に加えて本計画では、平成 28 年（2016 年）～平成 30 年（2018 年）に実施された橋梁定期点検（近接目視点検）及び健全性診断結果を基に策定橋梁の状態を把握するものとする。（下記参照）

その上で、策定橋梁に対する対策の要否や優先順位を検討していくものとする。

道路橋の健全性診断結果

健全性診断区分Ⅰ（健全）	： 23 橋
健全性診断区分Ⅱ（予防保全段階）	： 26 橋
健全性診断区分Ⅲ（早期措置段階）	： 15 橋
健全性診断区分Ⅳ（緊急措置段階）	： 0 橋

※1)主桁等:「主桁トラス」、「アーチ」・補鋼桁を含む
※2)欄杆:対稱溝等:「縦杆」、「横支材」、「縦直材」を含む

大規模交通量の区分 少・500台未満 中・500台以上 多・1500台以上 ※24時間当り																												
番 号	路線名	橋梁番号 (分割番号)	橋梁名	空間 番号	上部形式	維持 管理 区分	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設年 (年)	供用年 (年)	道路橋 示方書 適用年	設計荷重	災害 地域 (参考)	大型 交通量 (参考)	主桁等 ^{※1)}		横桁 架設構造 ^{※2)}		橋溝	床版	下部工	支承	伸縮装置	高欄・ 防凍橋	地置	舗装	備考
																ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a									
1	轟線	0044	金盛橋	1	PC橋	B	40.00	4.70	4.00	1961	60	昭和31年		無			ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	土砂詰まり d	変形火傷 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
2	"	"	"	2	PC橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	変色劣化 b	腐食 b	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
3	"	"	"	3	PC橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	変色劣化 b	亀裂 c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
4	"	"	"	4	PC橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	変色劣化 b	腐食 b	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
5	"	"	"	5	PC橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	変色劣化 b	変形火傷 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
6	明治弘山通線	0039	明治橋	1	PC橋	C	40.20	4.80	4.00	1962	59	昭和31年		無			定着部の 異常 腐食 b	うき制履鉄 筋露出	定着部の 異常 腐食 b	定着部の 異常 腐食 b	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	支承部の 機能障害 a	破断 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
7	"	"	"	2	PC橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			定着部の 異常 腐食 b	うき制履鉄 筋露出	定着部の 異常 腐食 b	定着部の 異常 腐食 b	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	支承部の 機能障害 a	亀裂 c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
8	"	"	"	3	PC橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			定着部の 異常 腐食 b	うき制履鉄 筋露出	定着部の 異常 腐食 b	定着部の 異常 腐食 b	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	支承部の 機能障害 a	亀裂 c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
9	轟線	0043	宝盛橋	1	PC橋	B	25.20	4.80	4.00	1962	59	昭和31年		無			うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	変色劣化 d	変形火傷 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
10	"	"	"	2	PC橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	変色劣化 d	変形火傷 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
11	"	"	"	3	PC橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	変色劣化 d	変形火傷 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
12	轟線	0042	雷音橋	1	鋼溶接橋	B	19.60	4.70	4.00	1963	58	昭和31年	TL-14 (S31)	無			腐食 d	防腐機能 の劣化	防腐機能 の劣化	防腐機能 の劣化	-	床版ひび われ	漏水逆走 石版	腐食 d	破断 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
13	轟線	0041	王盛橋	1	鋼溶接橋	B	26.02	4.70	4.00	1964	57	昭和31年	TL-14 (S31)	無			腐食 b	腐食 b	腐食 b	腐食 b	-	床版ひび われ	うき制履鉄 筋露出	腐食 b	ゆるみ脱落 c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
14	共栄線	0009	共栄東橋	1	RC橋	C	7.10	5.50	4.50	1965	56	昭和39年		無			ひびわれ d	うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	-	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	ひびわれ c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
15	日の出線	0003	水車橋	1	鋼溶接橋	B	28.30	4.82	4.00	1966	55	昭和39年	TL-14 (S31)	無			腐食 a	腐食 a	腐食 a	腐食 a	-	うき制履鉄 筋露出	漏水逆走 石版	腐食 a	破断 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
16	西横四番線	0031	秀生橋	1	RC橋	C	4.00	4.30	4.00	1967	54	昭和39年		無			うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	-	-	漏水逆走 石版	支承部の 機能障害 a	破断 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
17	轟線	0040	超盛橋	1	PC橋	B	24.00	4.70	4.00	1968	53	昭和39年		無			うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	-	床版ひび われ	漏水逆走 石版	土砂詰まり d	ゆるみ脱落 c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
18	"	"	"	2	PC橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	ひびわれ a	-	-	漏水逆走 石版	土砂詰まり d	ゆるみ脱落 c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
19	"	"	"	3	PC橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			腐食 d	腐食 b	腐食 b	腐食 b	-	-	漏水逆走 石版	変色劣化 d	破断 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
20	母沢線	0006	母沢橋	1	鋼溶接橋	A	34.30	5.80	5.00	1970	51	昭和42年	TL-14 (S31)	無			腐食 d	腐食 b	腐食 b	腐食 b	-	床版ひび われ	漏水逆走 石版	腐食 d	破断 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
21	東五番線	0011	沼の沢橋	1	鋼溶接橋	C	55.30	3.80	3.00	1972	49	昭和42年	TL-14 (S31)	無			腐食 b	腐食 b	腐食 b	腐食 b	-	漏水逆走 石版	漏水逆走 石版	支承部の 機能障害 a	破断 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
22	"	"	"	2	鋼溶接橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			腐食 b	腐食 b	腐食 b	腐食 b	-	-	漏水逆走 石版	土砂詰まり d	ゆるみ脱落 c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
23	山梨線	0007	山梨橋	1	鋼溶接橋	C	6.70	4.70	4.00	1973	48	昭和39年		無			腐食 d	腐食 b	腐食 b	腐食 b	-	-	漏水逆走 石版	土砂詰まり d	ゆるみ脱落 c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
24	東旭丘線	0012	長寿橋	1	鋼溶接橋	C	49.40	3.80	3.00	1973	48	昭和47年	TL-14 (S31)	無			腐食 b	腐食 b	腐食 b	腐食 b	-	-	漏水逆走 石版	土砂詰まり d	ゆるみ脱落 c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
25	"	"	"	2	鋼溶接橋	"	"	"	"	"	"	"	"	"			腐食 b	腐食 b	腐食 b	腐食 b	-	-	漏水逆走 石版	土砂詰まり d	ゆるみ脱落 c	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
26	西横五番線	0032	西池田橋	1	鋼溶接橋	C	9.15	4.70	4.00	1973	48	昭和47年		無			防腐機能 の劣化	防腐機能 の劣化	防腐機能 の劣化	防腐機能 の劣化	-	腐食 a	漏水逆走 石版	変色劣化 d	変形火傷 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
27	下都線	0038	下都橋	1	PC橋	C	4.50	5.00	4.50	1973	48	昭和47年		無			ひびわれ a	うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	うき制履鉄 筋露出	-	-	漏水逆走 石版	変色劣化 d	破断 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
28	西横五番線	0059	下池田橋	1	PC橋	C	5.00	5.00	4.50	1973	48	昭和47年		無			うき制履鉄 筋露出	防腐機能 の劣化	防腐機能 の劣化	防腐機能 の劣化	-	-	漏水逆走 石版	変色劣化 d	破断 d	うき制履鉄 筋露出	路面の凹 凸	
29	西三番線	0082	西三番橋	1	PC橋	C	4.85	5.00	4.20	1973	48	昭和47年		無			うき制履鉄 筋露出	防腐機能 の劣										

※1)主桁等(主梁・スス)、「アーチリブ・横鋼桁」を含む
※2)橋桁・対橋溝等:「橋桁」、「橋支材」、「重直材」を含む
※3)主桁等:「主梁・スス」,「アーチリブ・横鋼桁」を含む
※4)橋桁・対橋溝等:「橋桁」、「橋支材」、「重直材」を含む
※5)500年以上～1500年未満 多:1500年以上 ※24時間当り)

番 号	路線名	橋梁番号 (分割番号)	橋梁名	区間 番号	上部形式		維持 管理 区分	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設年 (年)	供用年 (年)	道路橋 示方書 適用年	設計荷重	災害 地域	大型 交通量 (参考)	橋梁詳細(重要箇所)										備考	
																	主桁等 ^(※1)	橋桁 ^(※2) 対橋溝等	橋構	床版	下部工	支承	伸縮装置	高欄・ 防護欄	地置	排水井		舗装
60	西橋六番線	0033	桐橋	1	RC橋	RC連続(BOXカルバート)	C	4.70	6.50	5.50	1992	29	平成02年		無		ひびわれ _a	-	-	-	ひびわれ _b	-	-	防食機能の劣化 _b	ひびわれ _a	-	舗装の異常 _常	
61	西橋六番線	0034	跡生橋	1	PC橋	プレテン中空床版	C	9.84	7.70	6.50	1992	29	平成02年	TL-14 (S31)	無		ひびわれ _a	-	-	-	ひびわれ _a	-	-	防食機能の劣化 _d	ひびわれ _c	路面の凹凸		
62	日の出線	0004	北部橋	1	鋼溶接橋	H形鋼(合成)	B	21.20	5.30	4.10	1993	28	平成02年	TL-14 (S31)	無		腐食 _b	腐食 _b	-	-	漏水湧水 _d	腐食 _a	-	防食機能の劣化 _b	漏水湧水 _d	腐食 _b	路面の凹凸	
63	南池田線	0025	金剛橋	1	PC橋	プレテン中空床版	C	12.54	8.70	7.50	1993	28	平成02年	TL-20 (S31)	無		ひびわれ _a	-	-	-	洗掘 _a	腐食 _d	-	変形欠損 _d	腐食 _b	路面の凹凸		
64	町内西線	0035	町内西橋	1	PC橋	プレテン中空床版	B	17.70	9.50	8.50	1993	28	平成02年	TL-14 (S31)	無		ひびわれ _a	-	-	-	漏水湧水 _d	腐食 _b	-	うき割離鉄筋露出 _c	腐食 _c	路面の凹凸		
65	明治線	0045	放水橋	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	C	11.00	4.00	4.00	1994	27			無		腐食 _c	-	-	-	腐食 _c	-	-	-	-	-	-	
66	明治線	0046	集水橋	1	鋼溶接橋	H形鋼(非合成)	C	4.00	4.00	4.00	1994	27			無		腐食 _c	-	-	-	腐食 _c	-	-	-	-	-	-	
67	落合線	0050	桜橋	1	鋼溶接橋	H形鋼(非合成)	C	6.50	4.00	3.60	1994	27			無		腐食 _c	-	-	-	うき割離鉄筋露出 _b	-	-	腐食 _c	-	-	-	
68	落合線	0051	梅橋	1	鋼溶接橋	H形鋼(非合成)	C	6.50	4.10	3.70	1994	27			無		腐食 _c	-	-	-	ひびわれ _c	-	-	腐食 _c	-	-	-	
69	落合線	0052	松橋	1	鋼溶接橋	H形鋼(非合成)	C	6.50	4.10	3.70	1994	27			無		腐食 _c	-	-	-	ひびわれ _c	-	-	腐食 _c	-	-	-	
70	日の出線	0005	日の出橋	1	PC橋	プレテン中空床版	C	14.90	11.00	10.00	1996	25	平成06年	A活荷重	無		うき割離鉄筋露出 _b	-	-	-	漏水湧水 _d	支承部の機能障害 _a	-	亀裂 _c	うき割離鉄筋露出 _c	防食機能の劣化 _d	舗装の異常 _常	
71	東橋二番線	0013	共進橋	1	PC橋	プレテン中空床版	C	13.50	7.70	6.50	1998	23	平成08年	A活荷重	無		ひびわれ _a	-	-	-	漏水湧水 _d	支承部の機能障害 _a	-	ゆるみみだれ _c	うき割離鉄筋露出 _c	防食機能の劣化 _d	舗装の異常 _常	
72	後志京線	0056	後志京橋	1	PC橋	プレテン中空床版	C	9.60	11.00	10.00	1998	23	平成08年	B活荷重	無		ひびわれ _a	-	-	-	漏水湧水 _d	支承部の機能障害 _a	-	腐食 _a	変形欠損 _b	腐食 _d	路面の凹凸	
73	西橋六番線	0060	奥池田橋	1	RC橋	RC連続(BOXカルバート)	C	3.50	6.00	5.00	1998	23	平成08年		無		漏水湧水 _d	-	-	-	-	-	-	変形欠損 _a	ひびわれ _a	路面の凹凸		
74	西橋六番線	0061	上郷橋	1	RC橋	RC連続(BOXカルバート)	C	4.00	8.00	7.00	1998	23	平成08年		無		ひびわれ _c	-	-	-	漏水湧水 _d	-	-	防食機能の劣化 _b	変形欠損 _b	-	舗装の異常 _常	
75	坂小室線	0001	北生橋	1	PC橋	PC桁橋(その他)	C	7.10	5.20	4.00	1999	22	平成08年	TL-14 (S31)	無		ひびわれ _a	-	-	-	ひびわれ _b	-	-	漏水湧水 _d	ひびわれ _a	腐食 _d	土砂直まり _d	
76	小樽京線	0053	青獅子橋	1	鋼溶接橋	I桁(合成)	C	30.40	7.20	6.00	2000	21	平成08年	A活荷重	無		腐食 _a	腐食 _a	腐食 _a	腐食 _a	洗掘 _b ひびわれ _c	腐食 _a	-	変形欠損 _b	ゆるみみだれ _d	舗装の異常 _常		
77	北一番線	0036	北竜の川橋	1	PC橋	プレテン中空床版	C	8.40	7.20	6.00	2003	18	平成14年	A活荷重	無		ひびわれ _a	-	-	-	漏水湧水 _d	支承部の機能障害 _a	-	変形欠損 _b	ひびわれ _a	腐食 _a	路面の凹凸	
78	南池田線	0024	池田橋	1	PC橋	プレテン中空床版	C	13.26	8.70	7.50	2004	17	平成14年	A活荷重	無		ひびわれ _a	-	-	-	漏水湧水 _d	支承部の機能障害 _a	-	変形欠損 _b	うき割離鉄筋露出 _c	腐食 _a	路面の凹凸	
79	西橋二番線	0058	上竜の川橋	1	PC橋	プレテン中空床版	C	11.46	7.20	6.00	2004	17	平成14年	A活荷重	無		ひびわれ _a	-	-	-	漏水湧水 _d	支承部の機能障害 _a	-	変形欠損 _b	ひびわれ _c	腐食 _a	路面の凹凸	
80	然別線	0021	滝の川橋	1	PC橋	プレテン中空床版	C	14.10	8.70	7.50	2006	15	平成14年	B活荷重	無		定着部の異常 _c	-	-	-	ひびわれ _a	-	-	ゆるみみだれ _c	変形欠損 _b	腐食 _a	路面の凹凸	
81	都那線	0064	都那橋	1	RC橋	RC連続(BOXカルバート)	C	2.90	10.00	9.40	2015	6	平成24年		無		ひびわれ _a	-	-	-	うき割離鉄筋露出 _b	-	-	ゆるみみだれ _c	ひびわれ _a	-	路面の凹凸	

第3章 橋梁個別施設計画策定の概要

3-1. 計画策定の方針

策定概要と目的

前回同様、計画期間において、対象橋梁に対する健全性（修繕または更新の要否等）を把握し、修繕または更新実施橋梁の抽出と優先順位付け、年度別投資予算の平準化を目的とした橋梁個別施設計画を策定した。

なお、本計画では、重点配分の6条件（①対象施設、②計画期間、③対策の優先順位の考え方、④個別施設の状態等、⑤対策内容と実施時期、⑥対策費用）を満足するように策定を行なったものである。

計画策定の各種条件

- 計画期間は10年間：2022年（令和4年）～2031年（令和13年）
- 対象橋梁：全64橋（所管橋梁全数に同じ）
- 策定基礎データ：橋梁定期点検（1巡目、近接目視点検）成果
上記実施年は、2016年（平成28年）、2017年（平成29年）、
2018年（平成30年）
- 計画期間における橋梁定期点検計画（5年に1回の近接目視点検）
2巡目点検：（2021年（令和3年度））、2022年（令和4年度）
3巡目点検：2026～2027年（令和8～9年度）
4巡目点検：2031年（令和13年度）、（2032年（令和14年度））
※（ ）内は当該10年間の修繕計画年度範囲外
- 対策の優先順位の考え方：次項に詳述
- 計画策定の運用システム：HOCTEC 北海道市町村橋梁管理システム（Web版BMS）
- 計画策定の運用マニュアル：『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）
平成25年3月一部改訂』（財）北海道建設技術センター

WebBMS により出力される長寿命化修繕計画（案）（様式 1-2）に対して、点検・診断結果や技術者判断による補修補強工法や数量の見直し、優先順位の考え方を踏まえた修繕実施時期の見直し等を行ない、最終的な橋梁個別施設計画を策定する。

WebBMS により出力される長寿命化修繕計画（案）に対する見直しの流れを以下に示す。

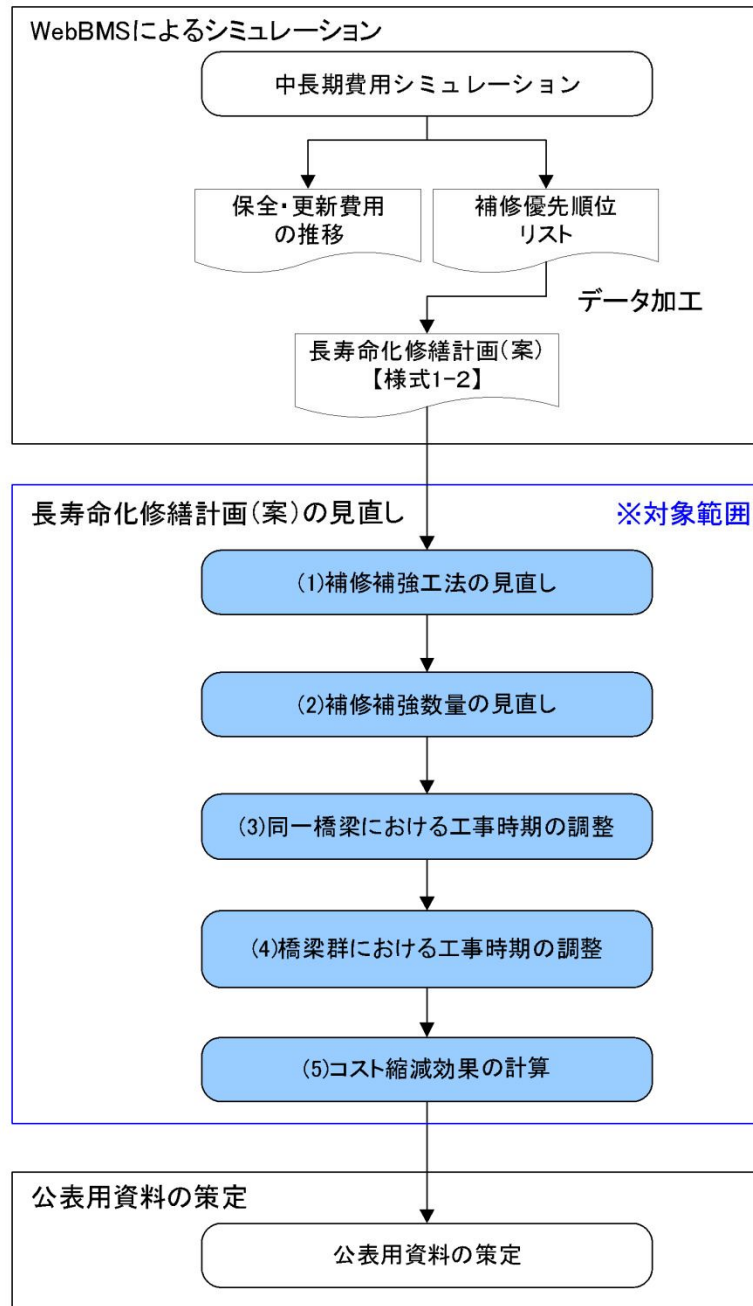


図 3-1-1 長寿命化修繕計画（案）見直しの流れ

（『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』 P. 46 より）

『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』により、標準化された計算方法に基づき策定された補修優先順位リストには以下の課題が存在する。

- ・補修補強工法が、実際の損傷状況および自治体の実態に対して、過大な場合がある。
- ・補修補強数量が実際の損傷程度と乖離している場合がある。
- ・設定単価、経費率、事業費率等に不適切な場合がある。

そのため、先の課題に対する各種見直しを行ない、橋梁個別施設計画を修正するものとする。

橋梁個別施設計画策定の見直し条件

・支承（沓座モルタル含む）、伸縮装置について

BMS 初期算出結果としてリストアップされた部位の内、点検結果と比較して、下記内容に該当しない場合は、経過観察と判断し、5年後を目安とした「次回点検」とする。

一方で、下記内容に該当する場合は、別途補修対策を検討する。

支承：機能障害（移動機能の低下、傾斜、亀裂、破断、アンカーボルト損失など）が生じている。

※支承、アンカーボルトの塗装劣化、錆等が見られる場合は別途補修対策を検討する。

支承モルタル：著しい損傷（ひび割れが沓下面に達する、支承下面まで欠損など）が生じている。

伸縮装置：漏水、亀裂、破断、遊間異常、脱落、著しい変形・欠損・段差、異常音などが生じている。

・地覆、防護柵について

BMS 対象外部位ではあるが、点検結果より損傷が著しく、今後人的被害（車両の逸脱による乗員被害）、第三者への人的被害（二次被害）の発生が考えられる場合は、その防止を目的として別途補修対策を検討する。

なお、地覆および防護柵の軽微な損傷で、前述した人的被害に直接結びつかないと判断されるものについては別途維持工事での対応と考え、今後 10 年間の修繕計画には計上しないものとする。

〔地覆および防護柵の軽微な損傷の目安〕

地覆 ： 防護柵支柱周りの地覆の剥離・剥落が単独であって連続的ではない損傷など

防護柵 ： 軽微な変形、取付ボルトの少数脱落、塗装劣化など

・鋼部材について

鋼部材（主部材、副部材、支承等）の腐食について、BMS 初期算出結果として 10 年間の修繕計画の対象に挙げられなかった場合でも、損傷度や供用年数から判断し、塗装塗替え周期に入っていると考えられる損傷については、適宜修繕実施時期の妥当性を確認し、前倒しが必要と判断される対象部位（対象橋梁）については、今後 10 年間の修繕計画の中で別途補修対策を検討する。

また、鋼部材の塗装塗替え工や取替え工を立案する場合は、塗膜調査費（含有量試験）を計上することの他、塗料中の有害物質（鉛、クロム）の含有を前提とし、それに特化した仮設設備を計上する。

ただし、PCB の含有は考慮しない設定とする。

・下部工について

下部工について、橋梁定期点検・診断結果により、沈下・移動・傾斜・洗掘の変状が発生している場合は、今後下部工や橋梁全体へ悪影響を及ぼすと考えられることから、今後 10 年間の修繕計画の中で別途補修対策を検討する。

・対策費の試算について

各工種における修繕対策費は、前回同様『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』に準じ試算するものとする。

経費率と事業費率は、『北海道建設部 土木工事積算基準（令和元年 10 月 北海道土木協会）』に準じるものとする。

経費率（設定値） : 2.00

事業費率（設定値） : 1.35

・橋梁定期点検費について

定期点検事業費については、赤井川村役場にて予定している以下の金額にて計上するものとする。

対象橋梁数 40 橋 : 25,000 千円

対象橋梁数 24 橋 : 9,000 千円

・対策設計費の試算について

本策定では、事業費に修繕対策設計委託費を計上するものとし、『北海道建設部 土木事業委託積算基準（令和元年 10 月北海道土木協会）』及び『北海道策定単価』に準じるものとする。

また、現場条件により橋梁点検車の導入、洗掘対策の測量調査等、適宜関連費を計上するものとする。

・年度別事業費について

赤井川村の計画期間における年間の事業投資予算は、約 50,000 千円／年程度を目安とする。また、1 橋の工事費が 50,000 千円を超える場合は、複数年に分割して施工する計画とする。

3-2. 対策の優先順位の考え方

計画策定の基本方針

～『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』より

- ・策定橋梁すべてを対象に、効率的・効果的なメリハリのある管理を実施するために、交通量や環境条件等を考慮した維持管理区分の分類を行う。
- ・各市町村の特性に応じて維持管理区分の判定基準を定め、効率的な管理の実現を目指す。

表 3.1 維持管理区分の判定基準（例）

維持管理区分	定義	該当する橋梁条件例
A	<予防維持管理> ・劣化が顕在化した後では、対策が困難なもの。 ・劣化が外へ表れては困るもの。 ・設計耐用期間が長いもの。	・第三者被害を及ぼす可能性のある橋梁 ・緊急輸送路(歩道橋を除く) ・DID 地区(歩道橋を除く) ・橋長 100m 以上(歩道橋を除く) ・主要な市町村道(歩道橋を除く) ・交通量 1,000 台/12h 以上(歩道橋を除く) ・塩害影響地域(歩道橋を除く)
B	<事後維持管理> ・劣化が外に表れてからでも対策が可能なもの。 ・劣化が表へ表れても機能に影響しないもの。	・維持管理区分A以外で橋長 15m 以上
C	<観察維持管理> ・使用できるだけ使用すればよいもの。 ・第三者影響度に関する安全性を確保すればよいもの。	・維持管理区分A以外で橋長 15m 未満 ・第三者被害を及ぼす可能性のない歩道橋

（『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』 P.7 より）

上記に示す維持管理区分とは、対策の優先順位を決定するための目安となるものである。

なお、本計画における維持管理区分は、上表およびBMSにより算出した優先順位（初期算出結果）、地域の実績、発注者の考え等を勘案し、次ページの通りとする。

表 3-2-1 赤井川村における維持管理区分の判定方針

橋梁の重要度	維持管理区分	該当する橋梁条件
高  低	A	・ 主要な村道（1級村道及び赤井川高原道路）で橋長15m以上
	B	・ 維持管理区分A以外で橋長15m以上、突っ込み道路以外の橋梁
	C	・ 突っ込み道路の橋梁 ・ 橋長15m以下の橋梁

維持管理区分

A に該当する橋梁数：5 橋

（その内、診断Ⅳ＝0 橋、診断Ⅲ＝3 橋、診断Ⅱ＝2 橋、診断Ⅰ＝0 橋）

B に該当する橋梁数：12 橋

（その内、診断Ⅳ＝0 橋、診断Ⅲ＝5 橋、診断Ⅱ＝4 橋、診断Ⅰ＝3 橋）

C に該当する橋梁数：47 橋

（その内、診断Ⅳ＝0 橋、診断Ⅲ＝7 橋、診断Ⅱ＝20 橋、診断Ⅰ＝20 橋）

また、赤井川村独自の補修年度の優先順位の考え方として、以下の条件を設定する。

補修年度の優先順位の考え方

- 1 橋の健全性診断がⅢまたはⅡの橋梁
- 2 市街地にある橋梁
- 3 キロロスキー場への橋梁
- 4 市街地周囲の橋梁
- 5 落合ダムへの橋梁（落合線）
- 6 轟線

本計画における対策の優先順位の考え方は、以下とし、行政的判断を加えた上で策定を行なうものとする。

- ・過年度の橋梁定期点検（近接目視点検）において、健全性診断区分Ⅲ（早期措置段階）またはⅡ（予防保全段階）の判定を受けた橋梁を修繕または更新実施対象の基本とする。

対象：健全性診断区分Ⅱ（予防保全段階）：26 橋

健全性診断区分Ⅲ（早期措置段階）：15 橋

※上記診断区分Ⅱの内 3 橋、Ⅲの内 7 橋は、補修工事終了または補修工事中である。

- ・過年度の橋梁定期点検（近接目視点検）において、健全性診断区分Ⅲ（早期措置段階）の判定を受けた橋梁は、5 年以内の措置を念頭に可能な限り本策定の前半で計画する。（対象：補修工事済み橋梁を除く 9 橋）
- ・補修設計済み橋梁（4 橋、うち 2 橋は診断Ⅲ）を修繕対象とするが、優先順位は上記健全性診断Ⅲを優先に計画する。
- ・1 巡目近接目視点検において、洗掘の発生している橋梁は、今後下部工や橋梁全体へ悪影響を及ぼすことが懸念されるため、健全性診断区分Ⅱの場合でも健全性診断区分Ⅲ相当と判断し、修繕または更新実施の対象とし、優先度は高いものとする。
対象（2 橋）：0023_共栄西橋、0039_明治橋
- ・1 巡目近接目視点検において、健全性診断区分Ⅱの橋梁の中でも、下部工の健全性診断がⅡで、ひび割れ幅が大きく（ $W=0.5\text{mm}$ 以上）、かつひび割れ間隔が狭い橋梁については、修繕実施の対象とする。
対象（2 橋）：0038_下都橋、0059_下池田橋
- ・1 巡目近接目視点検において、健全性診断区分Ⅱの橋梁の中でも、上部工の健全性診断がⅡ（8 橋）の橋梁を修繕実施の対象とする。
- ・健全性診断区分Ⅰ（健全）の判定を受けている橋梁は、定期点検のみ計画策定するものとする。
- ・健全性診断区分Ⅱ（予防保全段階）であっても本策定の 10 年間の修繕対象としていない橋梁については、定期点検のみ計画策定するものとする。

補修補強の優先順位付け

～『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』より

橋梁マネジメントシステムでは、以下に示す手順に基づき、補修補強の優先順位付けを各橋梁の部材単位（径間毎）で行っている。

手順1	対象年度順に並び替える
手順2	対象年度が同じ場合は、主要部材、二次部材の順に並べる
手順3	次年度の点検健全度の低い順に並べる
手順4	点検健全度が同点の場合、維持管理区分A、区分B、区分Cの順に並べる
手順5	同一点検健全度・同一維持管理区分の場合は、BHI（予測値）の小さい順に並べ替える
手順6	BHIが同レベルの範囲内（10の範囲内）の場合は、費用便益費（BC）の大きい順に並べ替える

図 3.6 補修補強の優先順位付け手順

表 3.20 部材の点検健全度と維持管理区分から決まる優先順位（手順3，4）

点検健全度		維持管理区分		
		A	B	C
5	良	—	—	—
4		—	—	—
3		⑥予防保全	⑧予防保全	⑨予防保全
2		④事後保全	⑤事後保全	⑦事後保全
1	悪	①大規模補修・更新	②大規模補修・更新	③大規模補修・更新

※ ○内の数字が優先順位

※ 維持管理区分Aの⑥予防保全を維持管理区分Cの⑦事後保全より優先している。

（『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）』 P.26 より）

3-3. 橋梁個別施設計画策定対象橋梁の健全性診断結果

以下に挙げる橋梁については、今後 10 年間の橋梁個別施設計画策定における修繕実施対象とする。

- ・ 0007_山 梨 橋
- ・ 0009_共 栄 東 橋
- ・ 0010_富 田 橋
- ・ 0011_沼 の 沢 橋
- ・ 0012_長 寿 橋
- ・ 0014_上 山 道 橋
- ・ 0018_丸 山 橋
- ・ 0022_共 栄 橋
- ・ 0023_共 栄 西 橋
- ・ 0031_秀 生 橋
- ・ 0032_西 池 田 橋
- ・ 0035_町 内 西 橋
- ・ 0037_共 栄 南 橋
- ・ 0038_下 都 橋
- ・ 0039_明 治 橋
- ・ 0040_超 盛 橋
- ・ 0041_王 盛 橋
- ・ 0042_雷 音 橋
- ・ 0043_宝 盛 橋
- ・ 0044_金 盛 橋
- ・ 0047_岩 根 橋
- ・ 0049_藤 橋
- ・ 0053_青 獅 子 橋
- ・ 0059_下 池 田 橋

全 24 橋

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 5' 10.65"	140° 50' 54.09"
山梨橋 (フリガナ)ヤマナシ	山梨線	北海道余市郡赤井川村赤井川				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道赤井川村	2017.9.21	赤井川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)						
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者	丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)			
上部構造	Ⅱ	腐食	写真001,主桁01			
	Ⅰ					
	Ⅱ	床版ひびわれ	写真003,床版01			
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅱ	防食機能の劣化	写真005,支承部101			
その他	Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅱ	(所見等) 防食対策として主桁・支承の塗替塗装、漏水対策として橋面防水・伸縮取替、地覆・防護柵補修を実施することが望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1973年	7m	4.0m



起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1 上部構造・主桁(主桁01)【判定区分: Ⅱ】		上部構造・横桁()【判定区分: Ⅰ】	
写真3 上部構造・床版(床版01)【判定区分: Ⅱ】		下部構造()【判定区分: Ⅰ】	

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真5 支承部(支承部101)【判定区分: Ⅱ】	写真6 その他(伸縮装置01)【判定区分: Ⅱ】
	
- 【判定区分: Ⅱ】	- 【判定区分: Ⅱ】

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 4' 57.07" 140° 49' 45.15"
共栄東橋 (フリガナ)キョウエイカシハシ	共栄線	北海道余市郡赤井川村赤井川字137			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.10.20	共栄の沢川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅲ	ひびわれ	写真001,主桁01		措置及び判定 実施年月日
横桁					
床版					
下部構造	Ⅲ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工01		
支承部					
その他	Ⅲ	変形・欠損	写真006,護岸01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅲ	(所見等) 主桁にW=1.2mmのひびわれ、下部工、護岸に著しい剥離と欠損が 確認されたため機能回復対策としてひびわれ、断面補修を早期に実施する。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1965年	7m	4.50m

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1 上部構造・主桁(主桁01)【判定区分: Ⅲ】 	写真4 下部構造(下部工01)【判定区分: Ⅲ】 
写真6 その他(護岸01)【判定区分: Ⅲ】 	写真5 その他(護岸01)【判定区分: Ⅲ】 

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	140° 49' 14" 43° 4' 25"
富田橋 (フリガナ)トミタハシ	富田線	北海道赤井川村字富田131			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2016.10.16	赤井川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	道士木・シビテック・エーティツ	点検責任者 和田 隆宏
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	主桁	腐食	写真001,主桁01		措置及び判定 実施年月日
	横桁	Ⅰ			
	床版	床版ひびわれ	写真003,床版04		
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工02		
支承部	Ⅲ	腐食	写真005,支承部105		
その他	Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置02		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
Ⅲ	(所見等) 支承の塗装塗替えを早期に実施する。伸縮装置、下部工の補修および主構造の塗装塗替、舗装補修の実施が望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1991年	50m	10.0m
		
起点		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁(主桁01)【判定区分:Ⅱ】		上部構造・横桁()【判定区分:Ⅰ】	
			
写真3 上部構造・床版(床版04)【判定区分:Ⅱ】		写真4 下部構造(下部I02)【判定区分:Ⅱ】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真5 支承部(支承部105)【判定区分： Ⅲ 】	写真6 その他(伸縮装置02)【判定区分： Ⅱ 】
	
- 【判定区分： Ⅲ 】	- 【判定区分： Ⅱ 】

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	140° 49' 15" 43° 4' 9"
沼の沢橋 (フリガナ)ヌマノサワハシ	東五番線	北海道赤井川村字旭丘1			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2016.8.16	赤井川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	道土木・シビテック・エーティツ	点検責任者 和田 隆宏
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	主桁	Ⅰ			措置及び判定 実施年月日
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅰ			
下部構造	Ⅲ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工02		
支承部	Ⅲ	支承部の機能障害	写真005,支承部202		
その他	Ⅱ	腐食	写真006,高欄・防護柵02		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅲ	(所見等) 橋脚の詳細調査および支承、地覆・防護柵の補修を早期に 実施する。伸縮継手の土砂撤去が望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1972年	55m	3.0m
起点		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		上部構造・横桁()【判定区分: Ⅰ】	
上部構造・床版()【判定区分: Ⅰ】		写真4 下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅲ】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真5 支承部(支承部202)【判定区分: Ⅲ】		写真6 その他(高欄・防護柵02)【判定区分: Ⅱ】
		
- 【判定区分: Ⅲ】		- 【判定区分: Ⅱ】

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	140° 49' 32" 43° 3' 37"
長寿橋 (フリガナ)チョウジュバシ	東旭丘線	北海道赤井川村字都39			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2016.8.17	赤井川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	道土木・シビテック・エーティ	点検責任者 和田 隆宏
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	主桁	腐食	写真001,主桁01		措置及び判定 実施年月日
	横桁	腐食	写真002,横桁01		
	床版				
下部構造	Ⅰ				
支承部	Ⅲ	支承部の機能障害	写真005,支承部102		
その他	Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)			点検時に記録	措置後に記録
(判定区分) Ⅲ	(所見等)	支 承補修(塗装、モルタル)を早急に実施する。主構造の塗替塗 装、地覆、伸縮装置の補修が望まれる。橋面等の土砂撤去が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			終点	
架設年次	橋長	幅員		
1973年	49m	3.0m		
			起点	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1 上部構造・主桁(主桁01)【判定区分: Ⅱ】		写真2 上部構造・横桁(横桁01)【判定区分: Ⅱ】	
			
写真3 上部構造・床版()【判定区分: Ⅰ】		写真4 下部構造()【判定区分: Ⅰ】	

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真5 支承部(支承部102)【判定区分: Ⅲ】		写真6 その他(伸縮装置01)【判定区分: Ⅱ】
		
- 【判定区分: Ⅲ】		- 【判定区分: Ⅱ】

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 5' 45.4" 140° 49' 51.45"
上山道橋 (フリガナ)カミサンドウハシ	山道線	北海道余市郡赤井川村日ノ出			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.9.20	赤井川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅰ	主桁			措置及び判定 実施年月日
		横桁			
	Ⅱ	床版	写真003,床版11		
下部構造	Ⅰ				
支承部	Ⅰ				
その他	Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅱ	(所見等) 漏水対策として橋面防水・伸縮取替、安全対策として 地覆・防護柵補修を実施することが望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1976年	14m	3.50m
起点		
		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: I】		写真3 上部構造・床版(床版11)【判定区分: II】	
			
		支承部()【判定区分: I】	
		下部構造()【判定区分: I】	

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載し、
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6 その他(伸縮装置01)【判定区分: Ⅱ】		—【判定区分:
		
		—【判定区分:

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 5' 33.48" 140° 49' 0.8"
丸山橋 (フリガナ)マルヤマハシ	中央線	北海道余市郡赤井川村赤井川字433			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.10.18	丸山川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁01		措置及び判定 実施年月日
		横桁			
		床版			
下部構造	Ⅰ				
支承部					
その他	Ⅱ	路面の凹凸	写真006,舗装01		

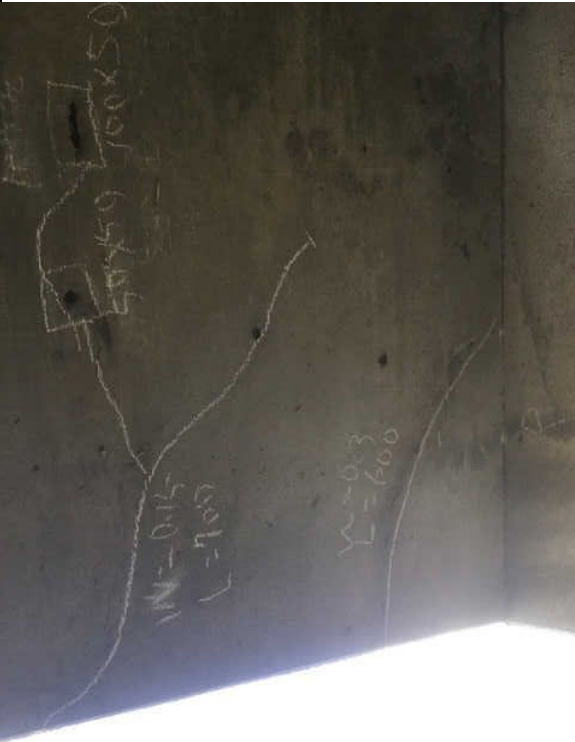
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分)	(所見等)	措置後に記録 (再判定年月日)
Ⅱ	下部工のひびわれ補修を実施することが望ましい。	(再判定区分)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1986年	5m	7.50m
起点		
		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1 上部構造・主桁(主桁01)【判定区分: Ⅱ】	下部構造()【判定区分: Ⅰ】
	
写真6 その他(舗装01)【判定区分: Ⅱ】	-【判定区分: 】
	

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 4' 47.93"
共栄橋 (フリガナ)キョウエイハシ	南池田線	北海道余市郡赤井川村赤井川字83-15		経度	140° 48' 56.35"
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.10.25	滝の川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅰ	主桁			措置及び判定 実施年月日
		横桁			
	Ⅱ	床版	写真003,床版01		
下部構造	Ⅱ		漏水・遊離石灰		
支承部	Ⅰ		写真004,下部工02		
その他	Ⅱ		路面の凹凸		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分)	(所見等)	措置後に記録
Ⅱ	床版から錆汁を伴う遊離石灰、下部工に鉄筋露出が確認され、漏水対策・機能回復対策として、橋面防水・断面補修を実施することが望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	架設年次	橋長	幅員
1986年	12m	8.0m	

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】	写真3 上部構造・床版(床版01)【判定区分: Ⅱ】
	
下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅱ】	支承部()【判定区分: Ⅰ】
	

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載し、
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6 その他(舗装01)【判定区分: Ⅱ】		—【判定区分:
		
	—【判定区分:	

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	経度
共栄西橋 (フリガナ)キョウエイニシバシ	南池田線	北海道余市郡赤井川村赤井川字45		43° 4' 43.79"	
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.10.18	上中の川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者
点検時に記録			措置後に記録		
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅰ	主桁			措置及び判定 実施年月日
		横桁			
		床版			
下部構造	Ⅱ	洗掘	写真004, 下部工02		
支承部					
その他	Ⅰ				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅱ	(所見等) 下部に著しい洗掘が確認されたため機能回復対策として断面補修を実施することが望ましい	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

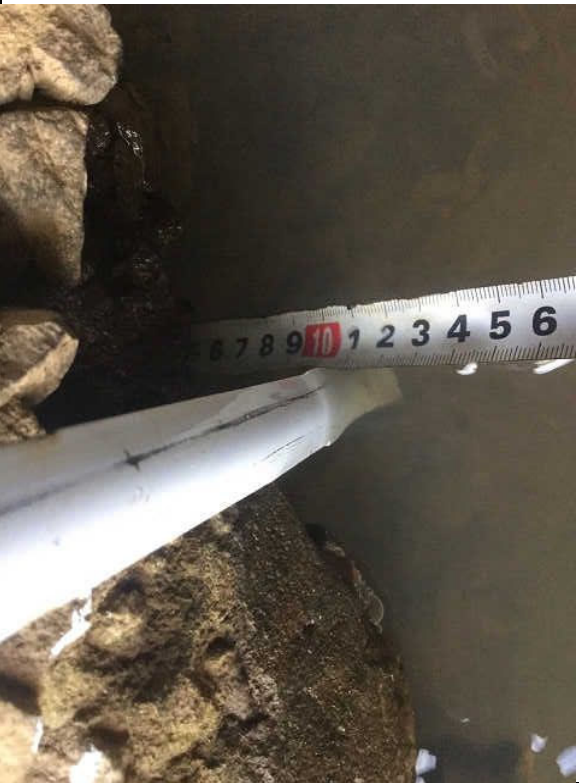
架設年次	橋長	幅員
1988年	3m	9.40m

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: I】		写真4 下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅱ】	
			
その他()【判定区分: I】		-【判定区分:】	

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 5' 4.9"	
				経度	140° 47' 43.7"	
秀生橋 (フリガナ)シェウセイハシ	西横四番線	北海道余市郡赤井川村池田字486				
	管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.10.19	上中の川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)						点検責任者	丸山 尚
点検時に記録						措置後に記録	
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01				
横桁							
床版							
下部構造	Ⅰ						
支承部	Ⅰ						
その他	Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)			点検時に記録	措置後に記録
(判定区分)	(所見等)	主桁に鉄筋露出が確認されたため、機能回復対策として	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅱ	断面補修を実施することが望ましい			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)			
架設年次	橋長	幅員	
1967年	4m	4.0m	
起点		終点	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1 上部構造・主桁(主桁01)【判定区分: Ⅱ】		下部構造()【判定区分: Ⅰ】	
			
支承部()【判定区分: Ⅰ】		写真6 その他(伸縮装置01)【判定区分: Ⅱ】	
			

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 4' 27.71" 140° 47' 22.16"
西池田橋 (フリガナ)ニシイケダハシ	西横五番線	北海道余市郡赤井川村池田字45			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.10.23	池田川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	写真001,主桁01	
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅰ			
下部構造	Ⅲ	Ⅲ	ひびわれ	写真004,下部工02	
支承部	Ⅱ	Ⅱ	腐食	写真005,支承部101	
その他	Ⅰ	Ⅰ			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分)	(所見等)	下部工に全体的なひびわれW=0.9mmが確認されたため、詳細調査し、ひびわれ補修工事などを早期に実施する。
Ⅲ		

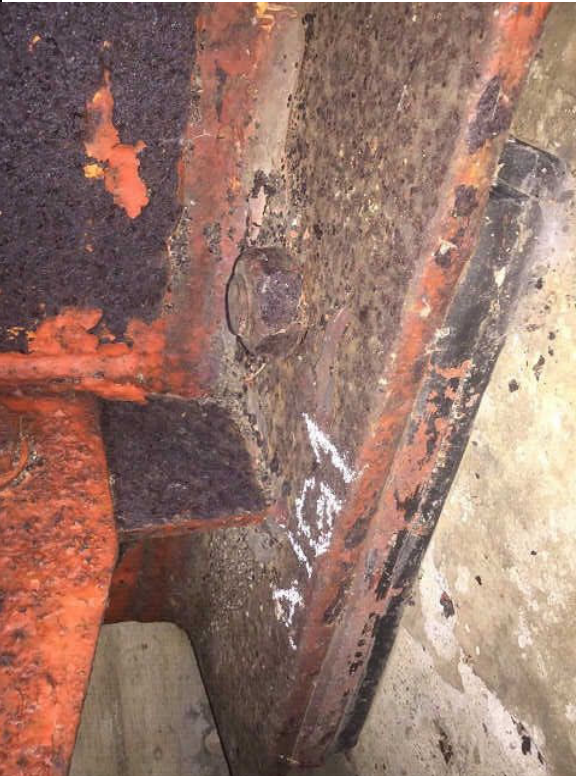
全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1973年	9m	4.0m
起点		
		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1 上部構造・主桁(主桁01)	【判定区分: Ⅱ】	上部構造・横桁()【判定区分: Ⅰ】	
写真4 下部構造・床版()	【判定区分: Ⅰ】	写真4 下部構造(下部工02)	【判定区分: Ⅲ】
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真5 支承部(支承部101)【判定区分：Ⅱ】		その他()【判定区分：Ⅰ】
		
- 【判定区分：Ⅱ】		- 【判定区分：Ⅱ】

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	140° 49' 9"
町内西橋 (フリガナ)チョウナイニシバシ	町内西線	北海道赤井川村字赤井川80-7	経度	43° 4' 41"	
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2016.8.19	滝の川	有	一般道	その他
占用物件(名称)					

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	道士木・シビテック・エーティツ	点検責任者 和田 隆宏
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅰ	主桁			措置及び判定 実施年月日
		横桁			
		床版			
下部構造	Ⅰ				
支承部	Ⅰ				
その他	Ⅰ				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分)	(所見等)	構造上の問題がなく、定期点検による経過観察とするが、橋台前面護岸の変状が著しいため、大雨時等には注意が必要。
Ⅰ		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1993年	18m	8.50m
起点		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		上部構造・床版()【判定区分: Ⅰ】	
下部構造()【判定区分: Ⅰ】		支承部()【判定区分: Ⅰ】	

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他()【判定区分: Ⅰ】	-【判定区分:
-【判定区分:	

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	140° 49' 9"	
				経度	43° 4' 51"	
共栄南橋 (フリガナ)キョウエイミナミハシ	共栄西線	北海道赤井川村字赤井川74-2				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道赤井川村	2016.8.18	滝の川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)						
点検時に記録			点検者	道士木・シビテック・エーティツ	点検責任者	和田 隆宏
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	Ⅰ	主桁				
		横桁				
		床版				
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	ゆるみ・脱落	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分)	(所見等)	措置後に記録 (再判定年月日)
Ⅰ	防護柵アンカーボルトの補修実施が望ましい。 A2橋台の沓座に堆積している土砂清掃が望ましい。	(再判定区分)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1989年	19m	8.0m

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		写真3 上部構造・床版(床版03)【判定区分: Ⅰ】	
下部構造()【判定区分: Ⅰ】		支承部()【判定区分: Ⅰ】	

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6 その他(伸縮装置01)【判定区分: Ⅱ】	-【判定区分:
	
-【判定区分:	

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 3' 10.54"
下都橋 (フリガナ)シモヤコバシ	下都線	北海道余市郡赤井川村都字50		経度	140° 49' 3.7"
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.10.16	無名川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅰ	主桁			措置及び判定 実施年月日
		横桁			
		床版			
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004, 下部工01		
支承部	Ⅰ				
その他	Ⅱ	変色・劣化	写真006, 伸縮装置01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅱ	(所見等) 下部工に間隔0.5m未満W=0.6mmのひびわれが確認されたため、 機能回復対策として下部工ひびわれ・断面補修を実施することが望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次 1973年	橋長 5m	幅員 4.50m
起点		
		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		上部構造・床版()【判定区分: Ⅰ】	
写真4 下部構造(下部工01)【判定区分: Ⅱ】		支承部()【判定区分: Ⅰ】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6 その他(伸縮装置01)【判定区分: Ⅱ】	-【判定区分:
	
-【判定区分:	

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	140° 51' 52"
				経度	43° 2' 16"
明治橋 (フリガナ)メイジバシ	明治鉱山通線	北海道赤井川村字明治205			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2016.10.13	白井川	無	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	道士木・シビテック・エーティツ	点検責任者 和田 隆宏
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅱ	定着部の異常	写真001,主桁01		措置及び判定 実施年月日
		横桁			
	Ⅰ	床版			
下部構造	Ⅱ	洗掘	写真004,下部工02		
支承部	Ⅰ				
その他	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆02		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分)	(所見等)	措置後に記録
Ⅱ	上部工定着部、地覆、防護柵の補修および橋脚の洗掘対策の 実施が望ましい。橋面および排水柵の土砂撤去が望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1962年	40m	4.0m

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1 上部構造・主桁(主桁01)【判定区分: Ⅱ】		上部構造・床版()【判定区分: Ⅰ】	
写真4 下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅱ】		支承部()【判定区分: Ⅰ】	

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6 その他(地覆02)【判定区分: Ⅱ】	- 【判定区分:
	
- 【判定区分:	

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 0' 37.84" 140° 52' 51.77"
超盛橋 (フリガナ)チョウセイバシ	轟線	北海道余市郡赤井川村轟			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.9.15	白井川	無	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	主桁	Ⅰ			措置及び判定 実施年月日
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅲ	写真003,床版01		
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工02		
支承部	Ⅰ				
その他	Ⅲ	舗装の異常	写真006,舗装01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅲ	(所見等) 橋面防水(床版補修)・伸縮取替を早期に実施する。 劣化対策として下部工・地覆・防護柵補修を実施することが望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1968年	24m	4.0m
起点		
		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		上部構造・横桁()【判定区分: Ⅰ】	
写真3 上部構造・床版(床版01)【判定区分: Ⅲ】		写真4 下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅱ】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部()【判定区分：Ⅰ】		写真6 その他(舗装01)【判定区分：Ⅲ】
		
		-【判定区分：Ⅲ】
		-【判定区分：Ⅲ】

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 0' 39.51" 140° 53' 2.87"
王盛橋 (フリガナ)オウセイバシ	轟線	北海道余市郡赤井川村轟			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.9.15	白井川	無	一般道	その他

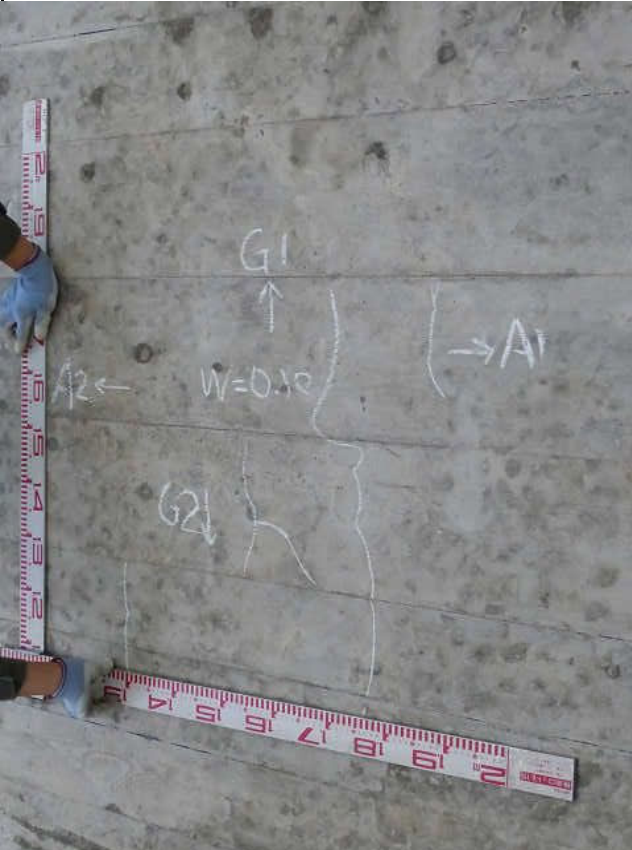
部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	主桁	Ⅰ			措置及び判定 実施年月日
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅱ	写真003,床版01		
下部構造	Ⅰ				
支承部	Ⅲ	防食機能の劣化	写真005,支承部101		
その他	Ⅲ	破断	写真006,高欄・防護柵01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分)	Ⅲ	(再判定区分)
(所見等) 機能回復として支承・地覆・防護柵補修を早期に実施する。 漏水対策として橋面防水・伸縮取替を実施することが望ましい。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1964年	26m	4.0m
起点		
		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		上部構造・横桁()【判定区分: Ⅰ】	
写真3 上部構造・床版(床版01)【判定区分: Ⅱ】		下部構造()【判定区分: Ⅰ】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真5 支承部(支承部101)【判定区分：Ⅲ】	写真6 その他(高欄・防護柵01)【判定区分：Ⅲ】
	
-【判定区分：Ⅲ】	-【判定区分：Ⅲ】

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 0' 36.03" 140° 53' 11.69"
雷音橋 (フリガナ)ライオンバシ	轟線	北海道余市郡赤井川村轟			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.9.14	白井川	無	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	主桁	Ⅲ	防食機能の劣化	写真001,主桁01	措置及び判定 実施年月日
	横桁	Ⅱ	防食機能の劣化	写真002,横桁01	
	床版	Ⅲ	床版ひびわれ	写真003,床版02	
下部構造	Ⅰ				
支承部	Ⅲ	支承部の機能障害	写真005,支承部104		
その他	Ⅲ	漏水・滞水	伸縮装置02		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅲ	(所見等) 主桁・支承及び地覆・防護柵補修、漏水対策として橋面防水・伸縮取替を早期に実施する。また鋼材の塗替塗装を実施することが望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1963年	20m	4.0m

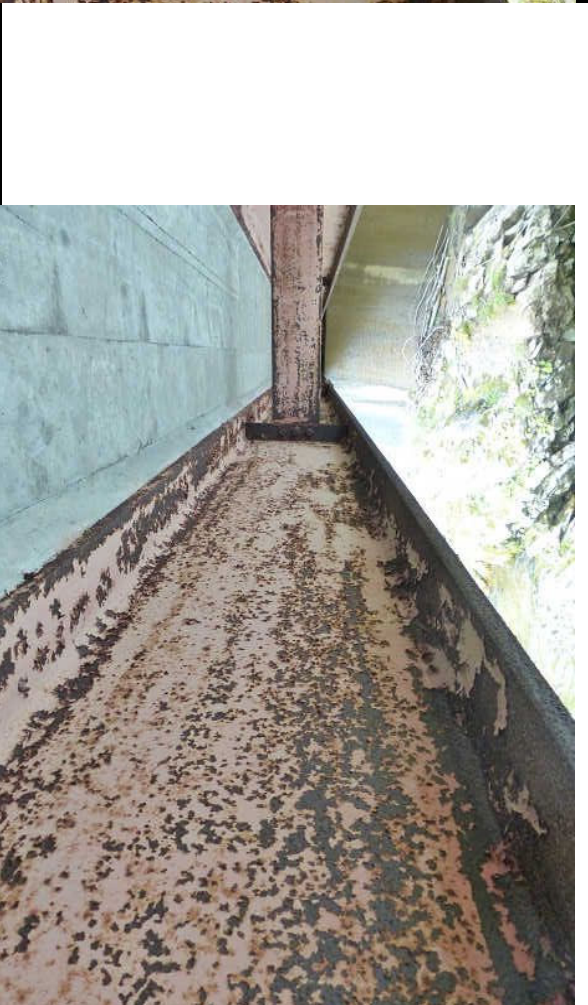
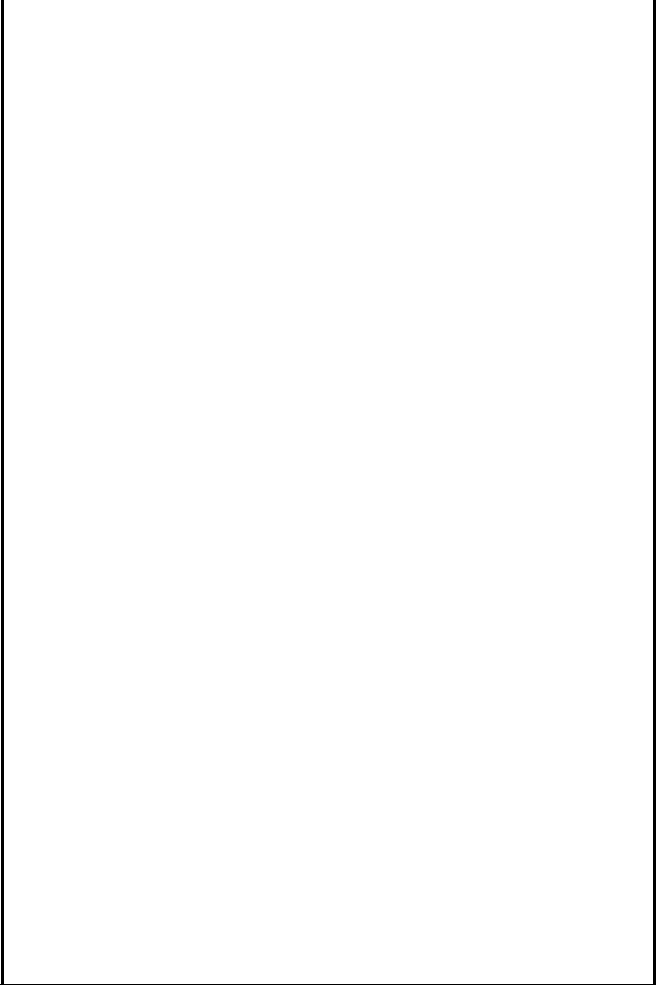
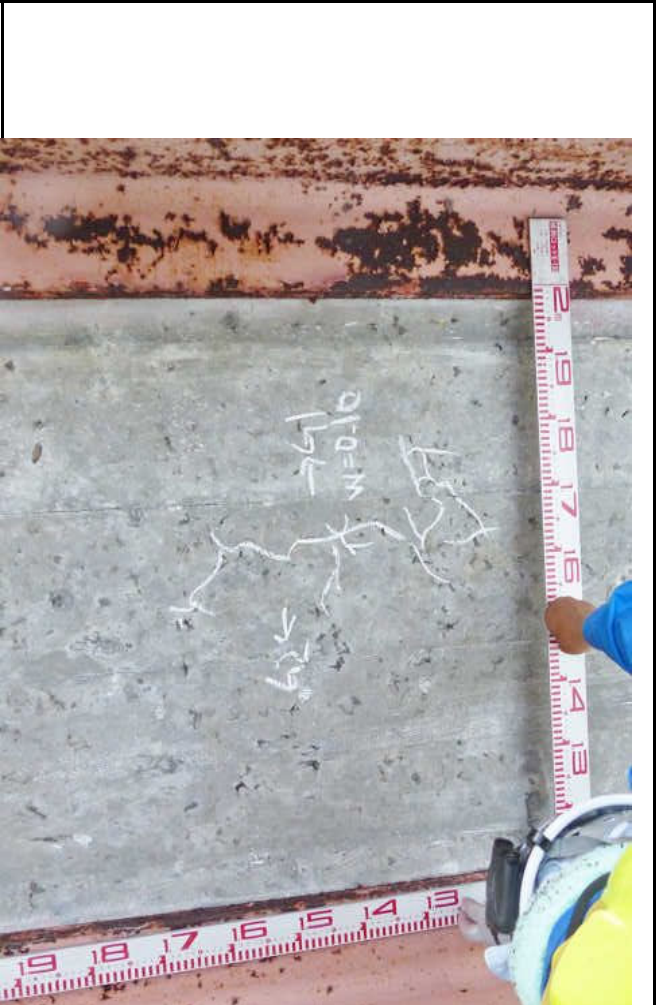


起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1 上部構造・主桁(主桁01)【判定区分: Ⅲ】	写真2 上部構造・横桁(横桁01)【判定区分: Ⅱ】
	
写真3 上部構造・床版(床版02)【判定区分: Ⅲ】	下部構造()【判定区分: Ⅰ】
	

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真5 支承部(支承部104)【判定区分： Ⅲ 】		その他(伸縮装置02)【判定区分： Ⅲ 】
		
- 【判定区分： Ⅲ 】		- 【判定区分： Ⅲ 】

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 0' 41.87" 140° 53' 35.19"
宝盛橋 (フリガナ)ホウセイハシ	轟線	北海道余市郡赤井川村轟			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.9.14	白井川	無	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅰ				措置及び判定 実施年月日
主桁					
横桁					
床版	Ⅲ	漏水・遊離石灰	写真003,床版02		
下部構造	Ⅲ	ひびわれ	写真004,下部工01		
支承部	Ⅱ	変色・劣化	写真005,支承部107		
その他	Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅲ	(所見等) 機能回復として下部工・防護柵・地覆補修・漏水対策として橋面 防水・伸縮取替を早期に実施する。主桁・支承補修を実施することが望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

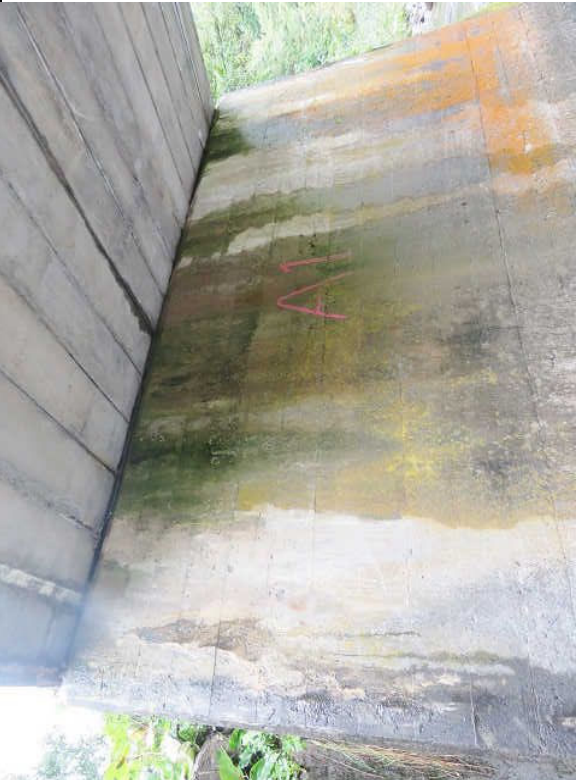
全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1962年	25m	4.0m
起点		終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: I】		上部構造・床版(床版02)【判定区分: III】	
			
写真4 下部構造(下部工01)【判定区分: III】		写真5 支承部(支承部107)【判定区分: II】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6 その他(伸縮装置01)【判定区分: Ⅲ】	-【判定区分:
	
-【判定区分:	

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	140° 54' 36"
				経度	43° 0' 38"
金盛橋 (フリガナ)キンセイハシ	轟線	北海道赤井川村字轟			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2016.8.18	白井川	無	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	道土木・シビテック・エーティツ	点検責任者 和田 隆宏
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅰ	主桁			措置及び判定 実施年月日
		横桁			
		床版			
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工02		
支承部	Ⅱ	土砂詰まり	写真005,支承部103		
その他	Ⅱ	変形・欠損	写真006,高欄・防護柵01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分)	(所見等)	支承の土砂詰まりの原因である伸縮装置の補修実施が望ましい。
Ⅱ	下部工、防護柵補修および橋面等の土砂撤去が望ましい。	(再判定区分)
		(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1961年	40m	4.0m
起点		
		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		上部構造・横桁()【判定区分: Ⅰ】	
上部構造・床版()【判定区分: Ⅰ】		写真4 下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅱ】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真5 支承部(支承部103)【判定区分：Ⅱ】		写真6 その他(高欄・防護柵01)【判定区分：Ⅱ】	
			
- 【判定区分：Ⅱ】		- 【判定区分：Ⅱ】	

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	140° 53' 22"
				経度	43° 4' 46"
岩根橋 (フリガナ)イワネハシ	落合線	北海道赤井川村字落合268-1			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2016.10.13	小樽川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	道士木・シビテック・エーティツ	点検責任者 和田 隆宏
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	主桁	Ⅰ			措置及び判定 実施年月日
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅱ	写真003,床版02		
下部構造	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真004,下部工02		
支承部	Ⅰ	ひびわれ			
その他	Ⅱ	漏水・滯水	写真006,伸縮装置01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅱ	(所見等) 床版の漏水対策として防水工を含む舗装の補修が望ましい。 伸縮装置、下部工の補修実施が望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1991年	31m	6.50m
起点		
		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		上部構造・横桁()【判定区分: Ⅰ】	
写真3 上部構造・床版(床版02)【判定区分: Ⅱ】		写真4 下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅱ】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部()【判定区分：Ⅰ】		写真6 その他(伸縮装置01)【判定区分：Ⅱ】
		
		-【判定区分：Ⅱ】
		-【判定区分：Ⅱ】

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 6' 16.83" 140° 54' 0.15"
藤橋 (フリガナ)フジバシ	落合線	北海道余市郡赤井川村字落合			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2017.10.16	青獅子沢川	無	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者 丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	Ⅰ	主桁			措置及び判定 実施年月日
		横桁			
		床版			
下部構造	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真004,下部工02		
支承部	Ⅰ				
その他	Ⅲ	変形・欠損	写真006,高欄・防護柵02		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅱ	(所見等) 防護柵の欠損が確認された。安全対策として防護柵の取替又は補修を実施することが望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1975年	6m	4.0m
起点		終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		上部構造・床版()【判定区分: Ⅰ】	
写真4 下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅱ】		支承部()【判定区分: Ⅰ】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6 その他(高欄・防護柵02)【判定区分: Ⅲ】		—【判定区分:
		
	—【判定区分:	

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	140° 53' 34.75" 43° 5' 28.9"
青獅子橋 (フリガナ)アオジシハシ	小樽沢線	北海道赤井川村字落合356-2			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
北海道赤井川村	2016.10.12	青獅子川	有	一般道	その他

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)					
点検時に記録			点検者	道土木・シビテック・エーティツ	点検責任者 和田 隆宏
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類
上部構造	主桁	Ⅰ			措置及び判定 実施年月日
	横桁	Ⅰ			
	床版	Ⅱ	写真003,床版02		
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01		
支承部	Ⅰ				
その他	Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅱ	(所見等) 床版、下部工、伸縮装置および床版漏水に対する補修の実施が望ましい。排水管の取付ボルト再設置が望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
2000年	30m	6.0m
起点		
		
終点		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		上部構造・横桁()【判定区分: Ⅰ】	
写真3 上部構造・床版(床版02)【判定区分: Ⅱ】		写真4 下部構造(下部工01)【判定区分: Ⅱ】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載し、
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部()【判定区分：Ⅰ】		写真6 その他(伸縮装置01)【判定区分：Ⅱ】
		
		-【判定区分：Ⅱ】
		-【判定区分：Ⅱ】

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 4' 18.48"	140° 47' 23.75"
下池田橋 (フリガナ)シメイケダバシ	西横五番線	北海道余市郡赤井川村池田字128				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道赤井川村	2017.10.25	下池田川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)						
点検時に記録			点検者	シビテック・道土木・エーティツ	点検責任者	丸山 尚
部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	Ⅰ	主桁				
		横桁				
		床版				
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004, 下部工01			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	漏水・滞水	写真006, 伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)		
点検時に記録		
(判定区分) Ⅱ	(所見等) 下部工にひびわれが確認されたため、機能回復対策として ひびわれ補修が望ましい。	(再判定区分) (再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1973年	5m	4.50m
起点		終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造・主桁()【判定区分: Ⅰ】		上部構造・床版()【判定区分: Ⅰ】	
写真4 下部構造(下部工01)【判定区分: Ⅱ】		支承部()【判定区分: Ⅰ】	
			

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6 その他(伸縮装置01)【判定区分: Ⅱ】	-【判定区分:
	
-【判定区分:	

3-4. 今後の維持工事対応について

赤井川村では、橋梁・道路の点検及び維持管理を以下の通り行っている。

- ・道路パトロールの実施
- ・その他異常気象の場合は、別途異常時点検の実施・対策

また、橋梁の維持修繕として、随時橋面の清掃等を行っている他、日常点検及び定期点検で確認された変状で必要と判断されるものについては、適宜単独費による維持修繕工事を行っている。

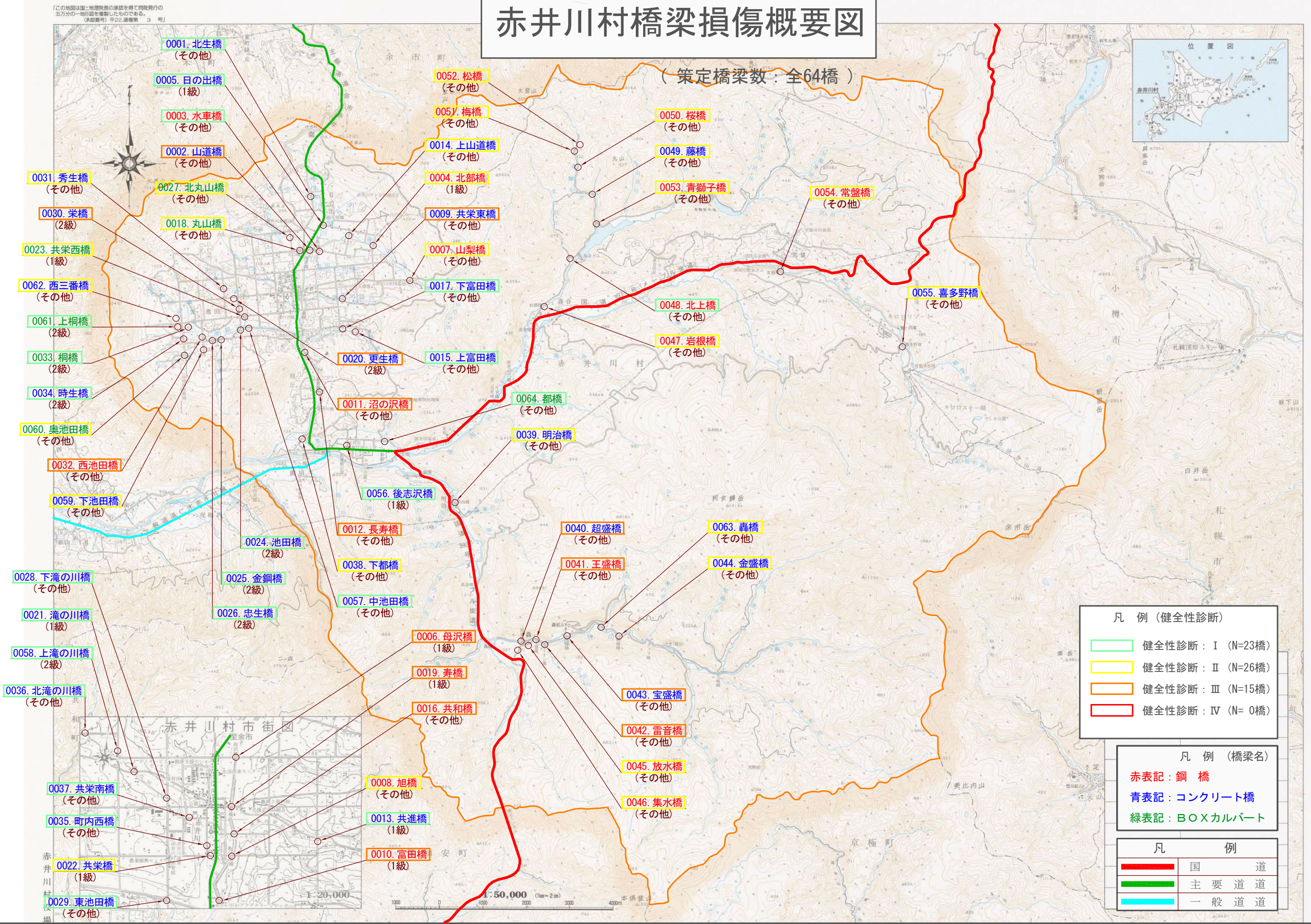
今後の維持管理体制としては、維持修繕を継続し、策定橋梁に対するきめ細やかな対応に努めていくものとする。

第4章 橋梁個別施設計画策定結果

4-1. 計画策定の結果

赤井川村橋梁損傷概要図

(策定橋梁数：全64橋)



橋梁個別施設計画（案）BMSIにより自動出力される～10年間の修繕計画（案）（策定後）
2022年～2031年【赤井川村】 策定対象橋梁数～全64橋 ※修繕実施橋梁のみ表示

【様式1ー2】

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

対策の内容・時期・事業費(百万円)																	事業費 (百万円)	備考		
橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)			
山梨橋 0007	その他	山梨線 0005	6.7	1973	49	2017	対策内容	【支保】取替え(鋼製からゴム製) 【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)	6.4							【主桁】塗装塗替え工(Rc-1) 【床版】断面修復工 【伸縮装置】取替え-全箇所 【地覆・防護柵】部分取換え工			設計委託費 5.5	
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 1				事業費	9.2										10.5	5.5	
共栄橋 0009	その他	共栄線 0007	7.1	1965	57	2017	対策内容	【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製) 【架換工】 図策工、旧橋撤去											図策工への 架換え予定 設計委託費 18.0	
R05 図策工業架換え設計予定 R06 図策工業架換え工事予定			径間数 1				事業費	6.0		20.0	9.0							20.0		
富田橋 0010	1級	富田線 0008	49.5	1991	31	2016	対策内容	【床版】床版打換え 【橋脚】断面修復工【支保】取替え(鋼製からゴム製) 【伸縮装置】取替え 【主桁】塗装塗替え工(Rc-1)~2区間 【床版】床版防水工+舗装打換え工 【伸縮装置】取替え-P1【地覆・防護柵】部分塗替え(Rc-Ⅲ)											設計委託費 48.5	
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 2				事業費	20.3	48.5			4.1						48.5		
沼の沢橋 0011	その他	東玉番線 0009	55.3	1972	50	2016	対策内容	【橋脚】断面修復工+ひびわれ注入工 【支保】取替え(鋼製からゴム製) 【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)											撤去後計中 設計委託費 -	
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 2				事業費	22.7										8.0	10.5	
長寿橋 0012	その他	東旭丘線 0010	49.4	1973	49	2016	対策内容	【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)											設計委託費 8.0	
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 2				事業費	29.5											10.5	
上山道橋 0014	その他	山道線 0016	13.6	1976	46	2017	対策内容	定期点検2-B											撤去後計中 設計委託費 8.0	
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 1				事業費													設計委託費 8.0
丸山橋 0018	その他	中央線 0032	5	1966	36	2017	対策内容	【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製) 【主桁】断面修復工+ひびわれ注入工+表面含浸工												設計委託費 5.0
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 1				事業費	10.2												設計委託費 5.0
南池田橋 0022	1級	南池田線 0035	11.82	1966	36	2017	対策内容	【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)												設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 1				事業費	10.4												設計委託費 4.0
共栄西橋 0023	1級	南池田線 0035	3.1	1988	34	2017	対策内容	【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)												設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 1				事業費	12.0												設計委託費 4.0
秀生橋 0031	その他	西横四番線 0045	4	1967	55	2017	対策内容	【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)												設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 1				事業費	4.4												設計委託費 4.0
西池田橋 0032	その他	西横五番線 0046	9.15	1973	49	2017	対策内容	【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製) 【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工												設計委託費 4.0
R03 補修設計済み R05 補修工事予定			径間数 1				事業費	5.0	0.8	16.5										設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 1				事業費	5.0	0.8	16.5										設計委託費 4.0
町内西橋 0035	その他	町内西線 0048	17.7	1993	29	2016	対策内容	【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)												設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:Ⅱ			径間数 1				事業費	11.2												設計委託費 4.0
共栄南橋 0037	その他	共栄西線 0057	18.76	1989	33	2016	対策内容	【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)												設計委託費 4.0
H28 補修設計済み			径間数 1				事業費	11.7												設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:Ⅱ			径間数 1				事業費	11.7												設計委託費 4.0
下都橋 0038	その他	下都線 0062	4.5	1973	49	2017	対策内容	定期点検2-B												設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅰ			径間数 1				事業費	7.4												設計委託費 4.0
明治橋 0039	その他	明治藍山通線 0065	40.2	1962	60	2016	対策内容													設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:Ⅱ			径間数 3				事業費													設計委託費 4.0
超盛橋 0040	その他	超盛線 0066	24	1968	54	2017	対策内容	【床版】床版防水工+舗装打換え工 【伸縮装置】取替え-全箇所 【地覆・防護柵】取換え-全箇所												設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:Ⅱ			径間数 3				事業費	30.0												設計委託費 4.0
王盛橋 0041	その他	王盛線 0066	26.02	1964	58	2017	対策内容	【支保】取替え(鋼製からゴム製) 【伸縮装置】取替え												設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:Ⅱ			径間数 1				事業費	14.2												設計委託費 4.0
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:Ⅱ			径間数 1				事業費	23.0												設計委託費 4.0

橋梁個別施設計画（案）BMSにより自動出力される～10年間の修繕計画（案）（策定後）
2022年～2031年【赤井川村】 策定対象橋梁数～全64橋 ※修繕実施橋梁のみ表示

【様式1ー2】

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

橋梁名		道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)											事業費 (百万円)	備考
橋梁名		道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	事業費 (百万円)	備考	
宝盛橋 0043	宝盛橋	その他	轟線 0066	25.2	1962	60	2017	対策内容	【伸縮装置】取替え (ゴム製からゴム製)					【床版】床版防水工+舗装打換え工 【橋脚】断面修復工+P1,P2 【伸縮装置】取替え-全箇所	【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工	【橋台】ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え-全箇所	【橋台】ひびわれ注入工-A1 【伸縮装置】取替え-全箇所	定期点検4-A	設計委託費 9.5		
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:Ⅱ-B	健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:Ⅱ-B							事業費	3.0			10.3		17.5					17.5		
金盛橋 0044	金盛橋	その他	轟線 0066	40	1961	61	2016	対策内容	【伸縮装置】取替え (ゴム製からゴム製)		【橋脚】断面修復工+ひびわれ注入工		定期点検3-A		【伸縮装置】取替え-全箇所 【橋脚】ひびわれ注入工-P1,P2	【伸縮装置】取替え-全箇所	【伸縮装置】取替え-全箇所 【橋脚】断面修復工+ひびわれ注入工	定期点検4-A	設計委託費 11.0		
岩根橋 0047	岩根橋		落合線 0069	31.4	1991	31	2016	対策内容	【支保】取替え (鋼製からゴム製) 【伸縮装置】取替え (ゴム製からゴム製)		5.9				10.3・22.0				22.0		
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅱ-B	健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅱ-B							事業費	3.0												
藤橋 0049	藤橋	その他	落合線 0069	6.4	1975	47	2017	対策内容					定期点検3-A		【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工	【床版】床版防水工+舗装打換え工 【橋台】ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え-全箇所	定期点検4-A	設計委託費 5.5			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅱ-B	健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅱ-B							事業費	22.8			6.2			14.0				14.0		
青獅子橋 0053	青獅子橋	その他	小樽沢線 0070	30.4	2000	22	2016	対策内容	【床版】床版打換え 【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え (ゴム製からゴム製)				定期点検3-A		【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工	【床版】床版防水工+舗装打換え工 【橋台】ひびわれ注入工-A1 【伸縮装置】取替え-全箇所	定期点検4-A	設計委託費 5.5			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅱ-C	健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅱ-C							事業費	13.3						2.8				8.0		
下池田橋 0059	下池田橋	その他	西横五番線 0046	5	1973	49	2017	対策内容	【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工				定期点検3-A			【橋台】ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え-全箇所 【地覆・防護柵】部分打替え工	定期点検4-A	設計委託費 5.0			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅱ-C	健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:Ⅱ-C							事業費	7.4						6.5				6.5		
今後の修繕・架替え事業費(百万円)									923.6	96.8	168.4	48.6	10.3	2.8	15.3	5.5	35.3	5.3	1,311.9		
● 今後の修繕・架替え事業費(百万円) (平準化)									57.5	45.0	56.5	33.0	65.0	49.5	68.0	73.5	78.0	78.5	604.5		
・年度別修繕・架替え工事費(百万円)									48.5	16.5	50.0	25.5	30.5	17.5	49.0	30.0	70.0	48.0	385.5		
・橋梁定期点検及び修繕計画策定委託費(百万円)									9.0	0.0	0.0	0.0	25.0	9.0	0.0	0.0	0.0	30.5	73.5	R13修繕計画 策定予定	
・年度別設計委託費(百万円)									0.0	28.5	6.5	7.5	9.5	23.0	19.0	43.5	8.0	0.0	145.5		
● 年度別修繕対象橋梁数(設計)									0	2	1	1	1	2	4	8	1	0	20		
● 年度別修繕対象橋梁数(工事)									1	1	2	1	1	1	2	4	9	2	24		
● 年度別定期点検橋梁数(点検)									24	0	0	0	40	24	0	0	0	40	128	28日～24日 38日～44日 48日～49日	

特記1. 上基内、各種修繕工法について

灰色表記の文字・数字 ～ WebBMSにより計上された初期策定結果。橋梁点検結果から判断し、修繕対策を要送った部位・部材（平準化後の事業費に含まない）

黒色表記の文字・数字 ～ WebBMSにより計上された初期策定結果。修繕・架替え事業費の平準化を考慮し、補修時期の見直しを行った部位・部材（平準化後の事業費を含む）

赤色表記の文字・数字 ～ WebBMSにより初期策定結果として未計上、もしくはシステム策定対象外だが、損傷状況から修繕が必要であると判断し、別途計上を行った部位・部材（平準化後の事業費を含む）

特記2. 管理橋梁の定期点検は、5年程度の周期で実施するものとする。（平準化の事業費を含む）

特記3. 各橋梁の修繕実施施設設計を行う際には、詳細調査を行い再度、損傷・修繕箇所の確認および対策工法等について検討・決定を行うものとする。

橋梁個別施設計画（案）BMSにより自動出力される～10年間の修繕計画（案）（策定後）
2022年～2031年【赤井川村】 策定対象橋梁数～全64橋

【様式1ー2】

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

橋梁名										対策の内容・時期・事業費(百万円)										事業費 (百万円)	備考
橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年度	修繕 計画	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)				
北生橋 0001	その他	板小屋線 0001	7.1	1999	23	2017	対策内容	定期点検2-B										【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工			
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C			径間数 1				事業費						定期点検3-B								
山道橋 0002		日の出線 0003	9.5	1977	45	2017	対策内容		【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工			定期点検3-A									
R01 補修設計済み R02 補修工事済み	その他		径間数 1				事業費										定期点検4-A				
健全性診断区分：Ⅲ 維持管理区分：C			28.3	1966	56	2016	対策内容														
水車橋 0003	その他	日の出線 0003	径間数 1				事業費		8.4			定期点検3-A									
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：B			21.2	1993	29	2016	対策内容		【支承】取替え（鋼製からゴム製）					5.0			定期点検4-A				
北部橋 0004	1級	日の出線 0003	径間数 1				事業費														
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：B			14.9	1996	26	2017	対策内容						定期点検3-A								
日の出橋 0005	1級	日の出線 0003	径間数 1				事業費		9.2												
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C			34.3	1970	52	2016	対策内容														
母沢橋 0006	1級	母沢線 0004	径間数 1				事業費														
H30 補修設計済み R01,R02 補修工事済み	その他		径間数 1				対策内容		【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工			定期点検3-A									
健全性診断区分：Ⅲ 維持管理区分：A			6.7	1973	49	2017	事業費		12.8												
山梨橋 0007	その他	山梨線 0005	径間数 1				対策内容		【支承】取替え（鋼製からゴム製）												
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：C			38.6	1974	48	2016	事業費							10.5							
旭橋 0008	その他	東三番線 0006	径間数 2				対策内容		【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工			定期点検3-A									
H27 補修設計済み H27,H28 補修工事予定	その他		7.1	1965	57	2017	事業費														
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：B			49.5	1991	31	2016	対策内容		【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製）												
共栄東橋 0009	その他	共栄線 0007	径間数 1				事業費		【架換工】 図面工、旧橋撤去工												
R05 図面工架換工架換工事予定 R06 図面工架換工架換工事予定	その他		径間数 1				事業費														
健全性診断区分：Ⅲ 維持管理区分：C			7.1	1965	57	2017	対策内容		【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製）												
富田橋 0010	1級	富田線 0008	径間数 2				事業費														
H30,R01 補修設計済み R02,R03,R04 補修工事予定	その他		55.3	1972	50	2016	対策内容		【主桁】塗装塗替え工（Rc-Ⅰ）-2径間 【床版】床版防水工+鋼板打替え工 【伸縮装置】取替え-PⅠ 【地震・防護柵】部分塗替え（Rc-Ⅱ）												
健全性診断区分：Ⅲ 維持管理区分：A			49.4	1973	49	2016	事業費		48.9												
沼の沢橋 0011	その他	東五番線 0009	径間数 2				対策内容		【橋脚】断面修復工+ひびわれ注入工 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製）												
長寿橋 0012	その他	東三番線 0010	径間数 2				事業費														
健全性診断区分：Ⅲ 維持管理区分：C			13.5	1998	24	2017	対策内容		【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）												
共進橋 0013	1級	東三番線 0012	径間数 1				事業費														
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C			13.6	1976	46	2017	事業費														
上山道橋 0014	その他	山道線 0016	径間数 1				対策内容		定期点検2-B												
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：C			7.04	1980	42	2017	事業費														
上富田橋 0015	その他	上富田線 0022	径間数 2				事業費														
共和橋 0016	1級	共栄東線 0023	径間数 1				対策内容		【橋台】断面修復工 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）												
H30 補修設計済み R02 補修工事済み	その他		34.55	1979	43	2016	事業費														
健全性診断区分：Ⅲ 維持管理区分：B			7.04	1980	42	2017	事業費														
下富田橋 0017	その他	中富田線 0027	径間数 1				対策内容														
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C			5	1986	36	2017	事業費														
丸山橋 0018	その他	中央線 0032	径間数 1				対策内容		【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 【主桁】断面修復工+ひびわれ注入工+表面含浸工												
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：C			径間数 1				事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業費														
							事業														

橋梁個別施設計画（案）BMSIにより自動出力される～10年間の修繕計画（案）（策定後）
2022年～2031年【赤井川村】 策定対象橋梁数～全64橋

【様式1ー2】

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

橋梁名				道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)										事業費 (百万円)	備考
茅橋 0019 H28 補修設計済み R01 補修工事済み	健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:A	1級	母沢線 0004	34.15	1984	38	2016	対策内容 事業費	【床版】床版打換え 【橋台】断面修復工 【橋脚】断面修復工 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 119.0	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	定期点検3-A 定期点検4-A		
更生橋 0020 R02 補修設計済み R03 補修工事済み	健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:C	2級	中央池田線 0033	8.5	1978	44	2017	対策内容 事業費	【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 8.4	定期点検2-B	定期点検3-B											
滝の川橋 0021	健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	1級	然別線 0034	14.1	2006	16	2017	対策内容 事業費	【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 定期点検2-B	定期点検2-B	定期点検3-B											
共栄橋 0022	健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	1級	南池田線 0035	11.82	1986	36	2017	対策内容 事業費	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 定期点検3-A	定期点検3-A											2.5	設計委託費 4.0
共栄西橋 0023	健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C	1級	南池田線 0035	3.1	1988	34	2017	対策内容 事業費	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 定期点検2-B	定期点検2-B	定期点検3-B										2.5	設計委託費 4.0
地田橋 0024	健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C	2級	南池田線 0035	13.26	2004	18	2017	対策内容 事業費	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 定期点検2-B	定期点検2-B	定期点検3-B										3.0	設計委託費 4.0
金剛橋 0025	健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	2級	南池田線 0035	12.54	1993	29	2017	対策内容 事業費			定期点検3-A											
忠左橋 0026	健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	2級	南池田線 0035	6.8	1992	30	2017	対策内容 事業費			定期点検3-A											
北丸山橋 0027	健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	1級	北丸山線 0041	3.1	1978	44	2017	対策内容 事業費	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工	定期点検2-B	定期点検3-B											
下滝の川橋 0028	健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C	その他	西横一番線 0042	12.14	1991	31	2017	対策内容 事業費	【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 定期点検2-B	定期点検2-B	定期点検3-B											
東池田橋 0029	健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	その他	西横一番線 0042	9.5	1993	39	2017	対策内容 事業費	【主桁】断面修復工+ひびわれ注入工+表面含浸工 2.5	定期点検2-B	定期点検3-B											
栄橋 0030 R02 補修設計済み R03 補修工事済み	健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	2級	中池田線 0044	4.2	1976	46	2017	対策内容 事業費	【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 9.2	定期点検2-B	定期点検3-B											
秀生橋 0031	健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:C	その他	西横四番線 0045	4	1967	55	2017	対策内容 事業費	【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製） 定期点検2-B	定期点検2-B	定期点検3-B										5.0	設計委託費 4.0
西池田橋 0032 R03 補修設計済み R05 補修工事予定	健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C	2級	西横五番線 0046	9.15	1973	49	2017	対策内容 事業費	【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製） 定期点検2-B 【主桁】塗装替え工 (R6-1) 【橋台】断面修復工-A2+ひびわれ注入-A1, A2 【支承】ナット締直し 【地盤・防護柵】部分取換え工 6.8 16.5	定期点検2-B	定期点検3-B											
相橋 0033	健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:C	2級	西横六番線 0047	4.7	1992	30	2017	対策内容 事業費	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 定期点検2-B	定期点検2-B	定期点検3-B											
時生橋 0034	健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	2級	西横六番線 0047	9.84	1992	30	2017	対策内容 事業費			定期点検3-A											
町内西橋 0035 H27 補修設計済み	健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	1級	町内西線 0048	17.7	1993	29	2016	対策内容 事業費	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 定期点検3-A	定期点検3-A	定期点検3-B											
北滝の川橋 0036	健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	その他	北一番線 0036	8.4	2003	19	2017	対策内容 事業費	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 定期点検2-B	定期点検2-B	定期点検3-B											
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C	その他	1級						対策内容 事業費														

橋梁個別施設計画（案）BMSにより自動出力される～10年間の修繕計画（案）（策定後）
2022年～2031年【赤井川村】 策定対象橋梁数～全64橋

【様式1ー2】

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)										事業費 (百万円)	備考
								2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)		
共栄南橋 0037 H28 補修設計済み	健全性診断区分: I 維持管理区分: B その他	共栄西線 0057	18.76 径間数 1	1989	33	2016	対策内容	【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え(ゴム製からゴム製)					定期点検3-A					【床版】床版防水工+舗装打替え工 【橋台】ひびわれ注入工-A2 【地覆・防護柵】部分取換え工+部分打替え工	設計委託費 -
								117									150	設計委託費 -	
下都橋 0038	健全性診断区分: II 維持管理区分: C その他	下都線 0062	4.5 径間数 1	1973	49	2017	対策内容	【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工					定期点検3-B				【橋台】ひびわれ注入工-A1, A2 【伸縮装置】取替え-全箇所	設計委託費 4.5	
								7.4								6.0		決断	
明治橋 0039	健全性診断区分: II 維持管理区分: C その他	明治嵐山通線 0065	40.2 径間数 3	1982	60	2016	対策内容										【橋脚】断面修復工-P1, P2+根継工-P1 【地覆・防護柵】取換え-全箇所	設計委託費 12.0	
																27.0			
超澄橋 0040	健全性診断区分: II 維持管理区分: C その他	轟線 0066	24 径間数 3	1988	54	2017	対策内容	【床版】床版防水工+舗装打換え工 【橋台】断面修復工-A1, A2 【伸縮装置】取替え-全箇所										設計委託費 10.5	
								30.0								5.1			
王盛橋 0041	健全性診断区分: III 維持管理区分: B その他	轟線 0066	26.02 径間数 1	1964	58	2017	対策内容	【支承】取替え(鋼製からゴム製) 【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)										設計委託費 6.5	
								14.2											
雷管橋 0042	健全性診断区分: III 維持管理区分: B その他	轟線 0066	19.6 径間数 1	1983	59	2017	対策内容	【主桁】塗装差替え工(Rc-1) 【支承】差座もみ打替え(ｼﾞﾔﾂｸﾏﾌﾞ なし)+差座もみ打替え+支承再据付(ｼﾞﾔﾂｸﾏﾌﾞ あり)-A1(1箇所) 【伸縮装置】取替え-全箇所										設計委託費 7.5	
								78・25.5											
宝盛橋 0043	健全性診断区分: III 維持管理区分: B その他	轟線 0066	25.2 径間数 3	1982	60	2017	対策内容	【伸縮装置】取替え(ゴム製からゴム製)										設計委託費 9.5	
								5.0											
金盛橋 0044	健全性診断区分: II 維持管理区分: B その他	轟線 0066	40 径間数 5	1961	61	2016	対策内容	【伸縮装置】取替え(ゴム製からゴム製)										設計委託費 11.0	
								5.0											
放水橋 0045	健全性診断区分: II 維持管理区分: C その他	明治線 0067	11 径間数 1	1994	28	2018	対策内容	【床版】塗装差替え工(Rc-7) 【橋台】塗装差替え工(Rc-7) 【支承】取替え(鋼製からゴム製)											
								6.9											
集水橋 0046	健全性診断区分: II 維持管理区分: C その他	明治線 0067	4 径間数 1	1994	28	2018	対策内容	【床版】塗装差替え工(Rc-7) 【橋台】塗装差替え工(Rc-7) 【支承】取替え(鋼製からゴム製)											
								1.8											
岩根橋 0047	健全性診断区分: II 維持管理区分: B その他	落合線 0069	31.4 径間数 1	1991	31	2016	対策内容	【支承】取替え(鋼製からゴム製) 【伸縮装置】取替え(ゴム製からゴム製)										設計委託費 5.5	
								22.8											
北上橋 0048	健全性診断区分: I 維持管理区分: C その他	落合線 0069	12.36 径間数 1	1991	31	2017	対策内容	【床版】床版打換え 【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)											
								58.4											
藤橋 0049	健全性診断区分: II 維持管理区分: C その他	落合線 0069	6.4 径間数 1	1975	47	2017	対策内容	【床版】床版打換え 【伸縮装置】取替え(鋼製からゴム製)											
								58.4											
松橋 0050	健全性診断区分: II 維持管理区分: C その他	落合線 0069	6.5 径間数 1	1994	28	2018	対策内容	【床版】上取工取替え(鋼橋) 【支承】取替え(鋼製からゴム製)											
								22.2											
梅橋 0051	健全性診断区分: II 維持管理区分: C その他	落合線 0069	6.5 径間数 1	1994	28	2018	対策内容	【床版】塗装差替え工(Rc-7) 【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【支承】取替え(鋼製からゴム製)											
								22.0											
松橋 0052	健全性診断区分: II 維持管理区分: C その他	落合線 0069	6.5 径間数 1	1994	28	2018	対策内容	【床版】塗装差替え工(Rc-7) 【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【支承】取替え(鋼製からゴム製)											
								1.8											
青獅子橋 0053	健全性診断区分: II 維持管理区分: C その他	小樽沢線 0070	30.4 径間数 1	2000	22	2016	対策内容	【床版】床版打換え 【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え(ゴム製からゴム製)											
								16.8											
常盤橋 0054 H28 補修設計済み H30 補修工事済み	健全性診断区分: II 維持管理区分: A その他	赤井川高原道路 0073	61 径間数 2	1989	33	2016	対策内容	【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【支承】取替え(鋼製からゴム製)											
								72.1											

橋梁個別施設計画（案）BMSにより自動出力される～10年間の修繕計画（案）（策定後）
2022年～2031年【赤井川村】 策定対象橋梁数～全64橋

【様式1ー2】

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)										事業費 (百万円)	備考	
								2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)			
草多野橋 0055 H28 補修設計済み H29 補修工事済み	その他	赤井川高原道路 0073	21.07	1991	31	2016	対策内容													
							事業費													
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：A	1級	後志沢線 0079	9.6	1998	24	2017	対策内容													
							事業費													
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C		池田川沿線 0084	径間数 1																	
中池田橋 0057			5	1985	37	2017	事業費	13.2									2.4			
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C	その他	西横二番線 0043	径間数 1				対策内容													
上滝の川橋 0058							事業費													
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C	2級	西横五番線 0046	11.46	2004	18	2017	対策内容													
下池田橋 0059							事業費													
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：C	その他	西横六番線 0047	5	1973	49	2017	対策内容													
奥池田橋 0060							事業費													
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：C	その他	西横六番線 0047	3.5	1998	24	2017	対策内容													
上桐橋 0061							事業費													
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C	2級	西横六番線 0047	4	1988	24	2017	対策内容													
西三番橋 0062							事業費													
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：C	その他	西三番線 0036	4.85	1973	49	2017	対策内容													
轟橋 0063							事業費													
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：C	その他	轟線 0066	4.4	1979	43	2017	対策内容													
都橋 0064							事業費													
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C	その他	都南線 0088	2.9	2015	7	2018	対策内容													
							事業費													
今後の修繕・架替え事業費(百万円)								923.6	96.8	168.4	48.6	10.3	2.8	15.3	5.5	35.3	5.3	1,311.9		
● 今後の修繕・架替え事業費(百万円)（平準化）								57.5	45.0	56.5	33.0	65.0	49.5	68.0	73.5	78.0	78.5	604.5		
・年度別修繕・架替え工事費(百万円)								48.5	16.5	50.0	25.5	30.5	17.5	49.0	30.0	70.0	48.0	385.5		
・橋梁定期点検及び修繕計画策定委託費(百万円)								9.0	0.0	0.0	0.0	25.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.5	73.5	R13修繕計画 策定予定
・年度別設計委託費(百万円)								0.0	28.5	6.5	7.5	9.5	23.0	19.0	43.5	8.0	0.0	145.5		
● 年度別修繕対象橋梁数(設計)								0	2	1	1	1	2	4	8	1	0	20		
● 年度別修繕対象橋梁数(工事)								1	1	2	1	1	1	2	4	9	2	24		
● 年度別定期点検橋梁数(点検)								24	0	0	0	40	24	0	0	0	40	128		

特記1.上表内、各種修繕工法について

灰色表記の文字・数字 ～ WebBMSにより計上された初期策定結果。橋梁点検結果から判断し、修繕対策を見渡った部位・部材（平準化後の事業費に含まない）

黒色表記の文字・数字 ～ WebBMSにより計上された初期策定結果。修繕・架替え事業費の平準化を考慮し、補修時期の見直しを行った部位・部材（平準化後の事業費を含む）

赤色表記の文字・数字 ～ WebBMSにより初期策定結果として未計上、もしくはシスラン策定対象外だが、損傷状況から修繕が必要であると判断し、別途計上を行った部位・部材（平準化後の事業費を含む）

特記2.管理橋梁の定期点検は、5年程度の周期で実施するものとする。（平準化の事業費を含む）

特記3.各橋梁の修繕実施設計を行う際には、詳細調査を行い車道、損傷・修繕箇所の確認および対策工法等について検討・決定を行うものとする。

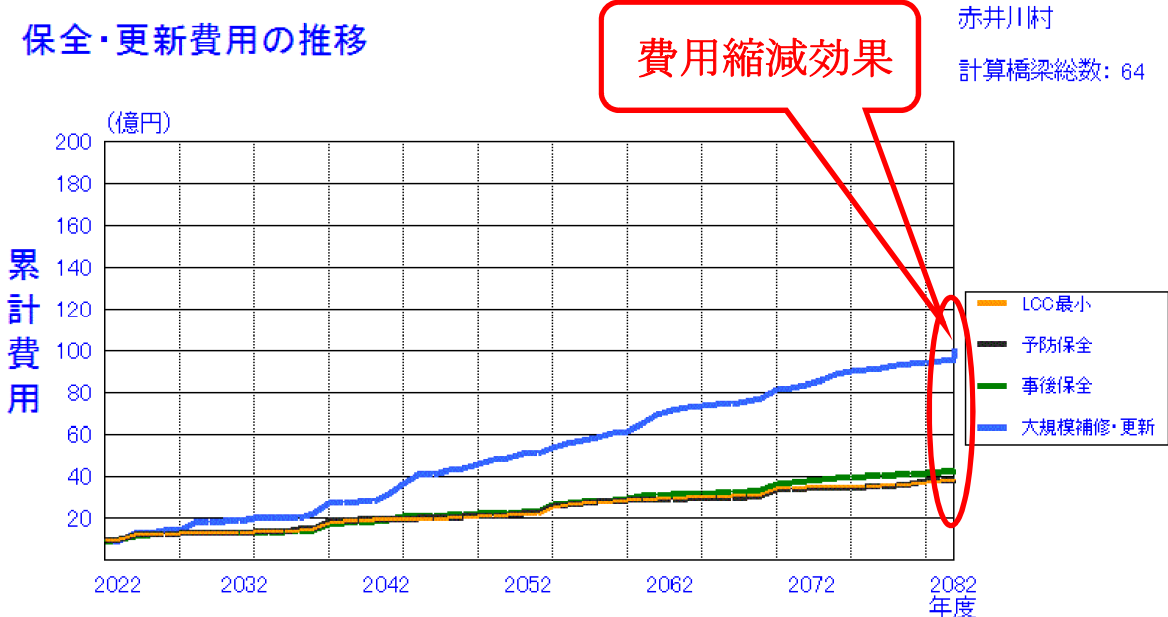
第5章 BMS の結果

5-1. BMS による補修費用試算結果

中長期補修費用のシミュレーションとして、今後 60 年間に於ける橋梁保全・更新にかかる累計補修費用を BMS により試算した。補修シナリオ別の試算結果を図 5-1-1 に示す。

「大規模補修・更新」の補修シナリオでは、約 100 億円の費用がかかるのに対して、「LCC 最小」及び「予防保全」の補修シナリオでは、約 39 億円となる。

このことから、今後は予防保全型の維持修繕対策を実施することにより、約 61 億円（約 60%）のコスト削減効果が期待できる。



橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)										事業費 (百万円)	備考
								2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031		
北生橋		板小屋線	7.1	1999	23	2017	対策内容										【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工		
							事業費									4		4	
山道橋		日の出線	9.5	1977	45	2017	対策内容				【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工								
							事業費	8										8	
水車橋		日の出線	28.3	1966	56		対策内容	【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製）											
							事業費	14										14	
北部橋		日の出線	21.2	1993	29		対策内容	【支承】取替え（鋼製からゴム製）											
							事業費	9										9	
日の出橋		日の出線	14.9	1996	26		対策内容	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）											
							事業費	13										13	
母沢橋		母沢線	34.3	1970	52	2016	対策内容	【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製） 【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工											
							事業費	16	13									28	
山梨橋		山梨線	6.7	1973	49	2017	対策内容	【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工											
							事業費	9	6									16	
旭橋		東三番線	38.6	1974	48	2016	対策内容	【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）											
							事業費	32										32	
共栄東橋		共栄線	7.1	1965	57	2017	対策内容	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）			【主桁】断面修復工+ひびわれ注入工+表面含浸工+床版防水工（床版橋に適用）								
							事業費	6			9							15	
富田橋		富田線	49.5	1991	31	2016	対策内容	【床版】床版打換え 【橋台】断面修復工 【橋脚】断面修復工 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）									【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工		
							事業費	202				4						206	
沼の沢橋		東五番線	55.3	1972	50	2016	対策内容	【橋脚】断面修復工+ひびわれ注入工 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製）											
							事業費	23										23	
長寿橋		東旭丘線	49.4	1973	49	2016	対策内容	【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）											
							事業費	30										30	
共進橋		東横二番線	13.5	1998	24	2017	対策内容	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）									【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工		
							事業費	9								3		12	
上山道橋		山道線	13.6	1976	46		対策内容												
							事業費											0	
上富田橋		上富田線	7.04	1980	42		対策内容												
							事業費											0	
共和橋		共栄東線	34.55	1979	43	2016	対策内容	【橋台】断面修復工 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）											
							事業費	24										24	

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)										事業費 (百万円)	備考
								2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031		
下富田橋		中富田線	7.04	1980	42		対策内容												
								事業費											
丸山橋		中央線	5	1986	36	2017	対策内容				【主桁】断面修復工+ひびわれ注入工+表面含浸工							0	
								事業費											
新橋		母沢線	34.15	1984	38	2016	対策内容											12	
								事業費											
更生橋		中央池田線	8.5	1978	44	2017	対策内容	119			【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工							119	
								事業費											
滝の川橋		然別線	14.1	2006	16	2017	対策内容											8	
								事業費											
共栄橋		南池田線	11.82	1986	36		対策内容	13			【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）							13	
								事業費											
共栄西橋		南池田線	3.1	1988	34		対策内容	10										10	
								事業費											
池田橋		南池田線	13.26	2004	18	2017	対策内容	12			【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）							12	
								事業費											
金鋼橋		南池田線	12.54	1993	29		対策内容	10									3	13	
								事業費											
忠生橋		南池田線	6.8	1993	29		対策内容											0	
								事業費											
北丸山橋		北丸山線	3.1	1978	44	2017	対策内容				【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工							0	
								事業費											
下滝の川橋		西横一番線	12.14	1991	31	2017	対策内容	7	5		2							14	
								事業費											
東池田橋		西横一番線	9.5	1983	39	2017	対策内容	21			【主桁】断面修復工+ひびわれ注入工+表面含浸工							21	
								事業費											
栄橋		中池田線	4.2	1976	46	2017	対策内容				3							3	
								事業費			【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工								
秀生橋		西横四番線	4	1967	55		対策内容											9	
								事業費			【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）								
西池田橋		西横五番線	9.15	1973	49	2017	対策内容	4										4	
								事業費			【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工								
							対策内容	5	7									12	
								事業費											

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)										事業費 (百万円)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
桐橋		西横六番線	4.7	1992	30		対策内容	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
								7											7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
時生橋		西横六番線	9.84	1992	30		対策内容																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
町内西橋		町内西線	17.7	1993	29		事業費	【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
																			0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
北渚の川橋		北一番線	8.4	2003	19	2017	事業費	11											11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）										【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
共栄南橋		共栄西線	18.76	1989	33	2016	事業費	8											14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）									6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
下都橋		下都線	4.5	1973	49	2017	事業費	12											12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
明治橋		明治缸山通線	402	1962	60		事業費	7											7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
超盛橋		轟線	24	1965	57	2017	事業費												0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ 【橋脚】断面修復工+ひびわれ注入工										【橋台】断面修復工+ひびわれ注入工 【橋脚】断面修復工+ひびわれ注入工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
王盛橋		轟線	26.02	1964	58	2017	事業費	14											15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製）									【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
雷音橋		轟線	19.6	1963	59	2017	事業費	14											22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製）									【床版】床版防水工+断面修復工+ひびわれ注入工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
宝盛橋		轟線	25.2	1962	60	2017	事業費	23											29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 【橋脚】断面修復工+ひびわれ注入工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
金盛橋		轟線	40	1961	61	2016	事業費	5											16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
								【伸縮装置】取替え（ゴム製からゴム製） 【橋脚】断面修復工+ひびわれ注入工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
放水橋		明治線	11	1994	28	2018	事業費	5												22																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
								【床版】塗装差替え工（Rc-?） 【橋台】塗装差替え工（Rc-?） 【支承】取替え（鋼製からゴム製） 【伸縮装置】取替え（鋼製からゴム製）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)										事業費 (百万円)	備考	
								2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031			
藤橋		落合線	6.4	1975	47		対策内容													
							事業費													
桜橋		落合線	6.5	1994	28	2018	対策内容													
							事業費													
梅橋		落合線	6.5	1994	28	2018	対策内容													
							事業費	22												
松橋		落合線	6.5	1994	28	2018	対策内容													
							事業費	2	35											
青獅子橋		小樽沢線	30.4	2000	22	2016	対策内容													
							事業費	2	35											
常盤橋		赤井川高原道路	61	1989	33	2016	対策内容													
							事業費	19					3							
喜多野橋		赤井川高原道路	21.07	1991	31		対策内容													
							事業費	72												
後志沢橋		後志沢線	9.6	1998	24	2017	対策内容													
							事業費	18												
中池田橋		池田川沿線	5	1985	37		対策内容													
							事業費	13												
上滝の川橋		西横二番線	11.46	2004	18	2017	対策内容													
							事業費													
下池田橋		西横五番線	5	1973	49	2017	対策内容													
							事業費	8												
奥池田橋		西横六番線	3.5	1998	24	2017	対策内容													
							事業費		7											
上桐橋		西横六番線	4	1998	24	2017	対策内容													
							事業費	7												
西三番橋		西三番線	4.85	1973	49	2017	対策内容													
							事業費	9												
轟橋		轟線	4.4	1975	47		対策内容													
							事業費		7											
都橋		都南線	2.9	2015	7		対策内容													
							事業費													
今後の修繕・架替え事業費(百万円)								924	97	168	49	10	3	15	6	35	5	12	1,312	

B	2014	赤井川村	後志振興局	赤井車線	共和橋	16	1	0	1	0	1	34.55	1979	銅桁	コンクリート床版	3	(経度)	34.8	床版防水工・断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022	
B	2014	赤井川村	後志振興局	赤井車線	共和橋	16	2	0	1	0	1	34.55	1979	銅桁	コンクリート床版	3	(経度)	34.8	床版防水工・断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022	
B	2014	赤井川村	後志振興局	小樽汽線	岩根橋	47	1	0	1	0	1	30.40	1991	銅桁	鋼桁	3	(経度)	57.4	塗装鉄骨工工 (Rc-Ⅲ)	a	2022	
B	2014	赤井川村	後志振興局	小樽汽線	岩根橋	53	1	0	1	0	1	31.40	2000	銅桁	鋼桁	3	(経度)	42.7	塗装鉄骨工工 (Rc-Ⅲ)	a	2022	
C	2014	赤井川村	後志振興局	落合線	松橋	51	1	0	1	0	1	6.50	1994	銅桁	鋼桁	3	(経度)	45.7	塗装鉄骨工工 (Rc-Ⅲ)	c	2022	
C	2014	赤井川村	後志振興局	落合線	松橋	52	1	0	1	0	1	6.50	1994	銅桁	鋼桁	3	(経度)	45.7	塗装鉄骨工工 (Rc-Ⅲ)	c	2022	
C	2014	赤井川村	後志振興局	東旭丘線	長寿橋	12	1	0	1	0	1	A1	49.40	1973	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	40.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	東旭丘線	長寿橋	12	2	0	1	0	1	A2	49.40	1973	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	40.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	東旭丘線	長寿橋	49	1	0	1	0	1	A1	6.40	1975	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	48.1	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	落合線	藤橋	49	1	0	1	0	1	A2	6.40	1975	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	48.1	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	落合線	藤橋	49	1	0	1	0	1	A1	6.40	1975	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	48.1	断面修復工+ひびわれ注入工	b	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	12	1	0	1	0	1	PI	49.40	1973	銅桁	コンクリート製橋脚	3	(経度)	40.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	32	1	0	1	0	1	PI	9.15	1973	銅桁	鋼桁	3	(経度)	41.8	断面修復工+ひびわれ注入工	c	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	明治線	取水橋	45	1	0	1	0	1	11.00	1994	銅桁	鋼桁	3	(経度)	45.7	塗装鉄骨工工 (Rc-Ⅲ)	c	2022	
C	2014	赤井川村	後志振興局	明治線	取水橋	46	1	0	1	0	1	4.00	1994	銅桁	鋼桁	3	(経度)	45.7	塗装鉄骨工工 (Rc-Ⅲ)	c	2022	
C	2014	赤井川村	後志振興局	山田線	上山道橋	14	1	0	1	0	1	A1	13.60	1976	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	56.9	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	山田線	上山道橋	14	1	0	1	0	1	A2	13.60	1976	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	56.9	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	晶線	晶橋	63	1	0	1	0	1	A1	4.40	1975	RC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	56.9	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	晶線	晶橋	63	1	0	1	0	1	A2	4.40	1975	RC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	56.9	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	落合線	桜橋	50	1	0	1	0	1	A1	6.50	1994	銅桁	鋼桁	3	(経度)	64.8	塗装鉄骨工工 (Rc-Ⅲ)	c	2022
C	2014	赤井川村	後志振興局	落合線	桜橋	50	1	0	1	0	1	A2	6.50	1994	銅桁	鋼桁	3	(経度)	64.8	塗装鉄骨工工 (Rc-Ⅲ)	c	2022
B	2015	赤井川村	後志振興局	日の出線	日の出橋	4	1	0	1	0	1	21.20	1993	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	64.0	塗装鉄骨工工 (Rc-Ⅲ)	a	2022	
C	2015	赤井川村	後志振興局	東五番線	沼の沢橋	11	1	0	1	0	1	A1	55.30	1972	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	35.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2015	赤井川村	後志振興局	東五番線	沼の沢橋	11	2	0	1	0	1	A2	55.30	1972	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	35.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2015	赤井川村	後志振興局	東五番線	都橋	64	0	1	1	0	1	A1	2.90	2015	RC桁	コンクリート製橋台	1 (深刻)	94.1	取替え (コンクリートからコンクリート)	a	2022	
C	2015	赤井川村	後志振興局	都橋	都橋	64	0	1	1	0	1	A2	2.90	2015	RC桁	コンクリート製橋台	1 (深刻)	94.1	取替え (コンクリートからコンクリート)	a	2022	
A	2016	赤井川村	後志振興局	母沢線	赤井車線	19	1	0	1	0	1	A1	34.15	1984	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	35.1	断面修復工+ひびわれ注入工	d	2022
A	2016	赤井川村	後志振興局	母沢線	赤井車線	19	1	0	1	0	1	PI	34.15	1984	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	35.1	断面修復工+ひびわれ注入工	d	2022
A	2016	赤井川村	後志振興局	母沢線	母沢橋	6	1	0	1	0	1	A1	34.30	1970	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.5	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
A	2016	赤井川村	後志振興局	母沢線	母沢橋	6	1	0	1	0	1	A2	34.30	1970	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.5	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
A	2016	赤井川村	後志振興局	母沢線	母沢橋	54	1	0	1	0	1	A1	61.00	1989	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	41.1	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
A	2016	赤井川村	後志振興局	赤井田線	常田橋	10	2	0	1	0	1	A1	49.50	1991	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	52.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
A	2016	赤井川村	後志振興局	赤井田線	常田橋	10	1	0	1	0	1	PI	49.50	1991	PC桁	コンクリート製橋脚	3	(経度)	66.5	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
A	2016	赤井川村	後志振興局	赤井川高田道路	豊多野橋	55	1	0	1	0	1	21.07	1991	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	62.0	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022	
B	2016	赤井川村	後志振興局	赤井川高田道路	共和橋	16	1	0	1	0	1	A1	34.55	1979	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.1	断面修復工+ひびわれ注入工	d	2022
B	2016	赤井川村	後志振興局	赤井川高田道路	共和橋	16	2	0	1	0	1	A2	34.55	1979	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.1	断面修復工+ひびわれ注入工	d	2022
B	2016	赤井川村	後志振興局	赤井川高田道路	赤井南橋	37	1	0	1	0	1	A1	18.76	1989	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	44.4	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
B	2016	赤井川村	後志振興局	赤井川高田道路	赤井南橋	37	1	0	1	0	1	PI	18.76	1989	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	44.4	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2016	赤井川村	後志振興局	東五番線	沼の沢橋	11	1	0	1	0	1	PI	55.30	1972	銅桁	コンクリート製橋脚	3	(経度)	34.6	断面修復工+ひびわれ注入工	d	2022
C	2016	赤井川村	後志振興局	東五番線	山梨橋	7	1	0	1	0	1	A1	6.70	1973	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	48.8	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2016	赤井川村	後志振興局	山梨橋	山梨橋	7	1	0	1	0	1	A2	6.70	1973	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	48.8	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2016	赤井川村	後志振興局	西堀一番線	下道の川橋	28	1	0	1	0	1	A1	12.14	1991	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	45.5	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2016	赤井川村	後志振興局	西堀一番線	下道の川橋	28	1	0	1	0	1	A2	12.14	1991	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	45.5	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2016	赤井川村	後志振興局	然別線	蓮の川橋	21	1	0	1	0	1	A1	14.10	2006	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	56.2	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2016	赤井川村	後志振興局	然別線	蓮の川橋	21	1	0	1	0	1	A2	14.10	2006	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	56.2	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2016	赤井川村	後志振興局	小樽汽線	青柳子橋	53	1	0	1	0	1	A1	30.40	2000	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	52.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2016	赤井川村	後志振興局	小樽汽線	青柳子橋	53	1	0	1	0	1	PI	30.40	2000	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	52.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
B	2017	赤井川村	後志振興局	町内西線	町内西橋	35	1	0	1	0	1	17.70	1993	PC桁	PC桁	3	(経度)	62.0	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022	
B	2017	赤井川村	後志振興局	町内西線	町内西橋	35	1	0	1	0	1	17.70	1993	PC桁	PC桁	3	(経度)	62.0	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022	
B	2017	赤井川村	後志振興局	赤井川高田道路	赤井南橋	37	1	0	1	0	1	A1	9.15	1973	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	66.5	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	赤井川高田道路	赤井南橋	37	1	0	1	0	1	A2	9.15	1973	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	66.5	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	32	1	0	1	0	1	A1	4.50	1973	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.0	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	32	1	0	1	0	1	A2	4.50	1973	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.0	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	下都橋	下都橋	38	1	0	1	0	1	A1	4.50	1973	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	下都橋	下都橋	38	1	0	1	0	1	A2	4.50	1973	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	下都橋	下都橋	38	1	0	1	0	1	A1	5.00	1973	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	下都橋	下都橋	38	1	0	1	0	1	A2	5.00	1973	銅桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	59	1	0	1	0	1	A1	4.85	1973	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	59	1	0	1	0	1	A2	4.85	1973	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	62	1	0	1	0	1	A1	4.85	1973	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	62	1	0	1	0	1	A2	4.85	1973	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	46.7	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	30	1	0	1	0	1	A1	4.20	1976	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	43.8	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	30	1	0	1	0	1	A2	4.20	1976	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	43.8	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	30	1	0	1	0	1	A1	4.20	1976	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	43.8	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	30	1	0	1	0	1	A2	4.20	1976	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	43.8	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	30	1	0	1	0	1	A1	4.20	1976	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	43.8	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	30	1	0	1	0	1	A2	4.20	1976	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	43.8	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022
C	2017	赤井川村	後志振興局	西堀五番線	西田橋	30	1	0	1	0	1	A1	4.20	1976	PC桁	コンクリート製橋台	3	(経度)	43.8	断面修復工+ひびわれ注入工	a	2022

3881.0 百万円

3881.0 百万円

第6章 道路メンテナンス事業補助制度における優先支援の実施について

6-1. 今後の取組について

維持管理の更なる高度化、効率化を目指して、以下の取り組みを行う。

(1) 新技術等の活用、費用縮減

管理する64橋のうち、約1割の橋梁で新技術の活用を目指す。

特に1巡目の定期点検で橋梁点検車等を使用した橋梁については、新技術の活用を重点的に検討し、令和8年度までの5年間で約1百万円のコスト縮減を目指す。

修繕工事においても、全ての橋梁で設計段階から新技術の活用を含めた比較検討を行い、コスト縮減を目指す。

(2) 集約化・撤去

集約化・撤去が可能な2橋について、令和6年度までに集約化・撤去を検討する。

(0011 沼の沢橋、0012 長寿橋)